

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名	建設部 下水道整備課								
部長	審議監	課長	補佐	補佐	主幹	班	班	設計者	設計審査
工 事 名 称	松戸第2処理分区汚水準幹線工事(R7-2工区)								
工 事 場 所	松戸市 金ヶ作 地先								
事 業 年 度	令和 7 年度								
工 事 価 格	円								
工 事 費 計	円								

設 計 概 要	路線延長	254.60m
	φ200mm開削工(塩ビ管)	254.60m
	組立1号マンホール設置工	2基
	組立楕円マンホール設置工	5基
	汚水ます及び取付管工 附帯工	24箇所 1式

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
		管布設工						
			本管布設工	式	1			第 1 号内訳書参照
			本管土工	式	1			第 2 号内訳書参照
			本管土留工	式	1			第 3 号内訳書参照
		マンホール設置工						
			組立1号マンホール設置工	式	1			第 4 号内訳書参照
			組立楕円マンホール	式	1			第 5 号内訳書参照
		ます設置及び取付管布設工						
			小口径汚水ます設置工	式	1			第 6 号内訳書参照
			内径150mm取付管布設工	式	1			第 7 号内訳書参照

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
			取付管土工	式	1			第 8 号内訳書参照
		附帯工						
			附帯工	式	1			第 9 号内訳書参照
			舗装復旧工	式	1			第 10 号内訳書参照
			仮設工	式	1			第 11 号内訳書参照
		直接工事費計						
		運搬費		式	1			第 12 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
		純工事費						
		現場管理費		式	1			

本 工 事 内 訳 書

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
	工事原価							
		一般管理費		式	1			
	工事価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計								

第 1 号内訳書 本管布設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200mm 昼間	m	247.4			第 1 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 本管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工	BH0.28 昼間	m3	651			第 2 号単価表参照
砂基礎設置工（機械施工）	改良土 昼間	m3	115			第 3 号単価表参照
機械投入埋戻工（ハックホ）	改良土 昼間	m3	502			第 4 号単価表参照
発生土運搬工	BH0.28積込、4tDT運搬 昼間	m3	617			第 5 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分（処分費込み）昼間	m3	34			第 6 号単価表参照
計						

第 3 号内訳書 本管土留工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下 BH0.28 昼間	m	17			第 7 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	17			第 8 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.0m以下 BH0.28 昼間	m	86			第 9 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.0m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	86			第 10 号単価表参照
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.5m以下 BH0.28 昼間	m	152			第 11 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.5m以下 トラッククレーン4.9t吊 昼間	m	152			第 12 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5m以下 昼間	m	255			第 13 号単価表参照
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1			
計						

第 4 号内訳書 組立1号マンホール設置工

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋（浮上・飛散防止型）	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	2			
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ600mm ロック付き	個	2			
組立1号マンホール	内径900mm、H=3.1m	基	2			
底部工	1号マンホール 昼間	箇所	2			第 14 号単価表参照
組立マンホール設置工	1号3m超～4m以下 昼間	箇所	2			第 15 号単価表参照
マンホール削孔費		式	1			第 16 号単価表参照
無収縮モルタル	調整高 4cm	箇所	2			
計						

第 5 号内訳書 組立楕円マンホール

1式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋（浮上・飛散防止型）	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	5			
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ600mm ロック付き	個	5			
組立楕円マンホール	H=2.9m	基	5			
底部工（組立式）	0号・楕円マンホール 昼間	箇所	5			第 17 号単価表参照
組立マンホール設置工	2m超～3m以下 昼間	箇所	5			第 18 号単価表参照
マンホール削孔費		式	1			第 19 号単価表参照
無収縮モルタル	調整高 4cm	箇所	5			
スリム内副管設置工	本管φ200mm 副管φ150mm	式	1			第 20 号単価表参照
計						

第 6 号内訳書 小口径汚水ます設置工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ます設置工(塩化ビニル製)	ます径φ200 昼間	箇所	23			第 21 号単価表参照
ます設置工(塩化ビニル製)	鉄蓋	箇所	1			第 22 号単価表参照
小口径汚水ます用防護ハット	φ200mm T-14	個	1			
小口径汚水ます防護ハット内蓋	φ200mm用	個	1			
計						

第 7 号 内訳書 内径150mm取付管布設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設および支管取付工	φ 150mm塩ビ管 塩ビ管3m未満	箇所	24			第 23 号単価表参照
計						

第 8 号内訳書 取付管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	BH0.28 昼間	m3	20			第 24 号単価表参照
発生土運搬工	4tDT運搬 昼間	m3	16			第 25 号単価表参照
機械投入埋戻工(バックホウ)	改良土 昼間	m3	16			第 4 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処分(処分費込み) 昼間	m3	4			第 6 号単価表参照
計						

第 9 号内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m	538			第 26 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 昼間	m3	0.9			第 27 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m2	253			第 28 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 昼間	m3	13			第 29 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.28 昼間	m3	63			第 30 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み 昼間	m3	63			第 31 号単価表参照
路盤工及び舗装工市道一般	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)	m2	253			第 32 号単価表参照
L形側溝撤去復旧工	既設側溝再利用	式	1			第 33 号単価表参照
計						

第 10 号 内訳書 舗装復旧工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m	21			第 26 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み 昼間	m3	0.04			第 27 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下 昼間	m2	905			第 28 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み 昼間	m3	45			第 29 号単価表参照
不陸整正		m2	905			第 34 号単価表参照
アスファルト舗装工(機械)市道一般	表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート) 昼間	m2	905			第 35 号単価表参照
区画線工		式	1			第 36 号単価表参照
計						

第 11 号内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	昼間	人日	249			第 37 号単価表参照
計						

第 12 号 内訳書 運搬費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	(鋼矢板) 往路 昼間	t	2.626			第 38 号単価表参照
仮設材等の運搬	(鋼矢板) 復路 昼間	t	2.626			第 39 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費	往復分 昼間	t	2.626			第 40 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径200mm
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共)	呼び径200mm 月単位現場閉所	m	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m 当り					

SDGD60010

J01 規格・仕様 = 2 呼び径 200mm
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J02 施工規模 = 1 20m以上
J04 夜間作業補正 = 2 無

第 2 号 単価表

機械掘削工

BH0.28
昼間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 41 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10030
J01 バックホ規格 = 1

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 3 号 単価表

砂基礎設置工 (機械施工)

改良土
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎設置工 (機械施工)	(市場単価)	m3	1			第 42 号単価表参照
建設発生土土質改良土 (CBR 6%以上)	石灰系改良 (流山)	m3	1.2			
計	1 m3 当り					

第 4 号 単価表

機械投入埋戻工 (ハックホ)

改良土
昼間

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工 (ハックホ)		m3	100			第 43 号単価表参照
建設発生土土質改良土 (CBR 6%以上)	石灰系改良 (流山)	m3	120			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

第 5 号 単価表

発生土運搬工

BH0.28積込、4tDT運搬
昼間

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック	4t積級	日				第 44 号単価表参照
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10160

J01 ダンプトラック規格 = 1
J03 DID区間 = 2
J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプトラック 4t積級
DID区間あり
良好

J02 運搬距離 (実数入力) [km] = 7.4
J04 バックホウ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 6 号 単価表

残土処分工

BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込
10tDT運搬処分（処分費込み）昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬工	BH0.28積込 4tDT運搬 現場～仮置場	m3	1			第 45 号単価表参照
積込（ルーズ）	BH0.8m3	m3	1			第 46 号単価表参照
土砂等運搬	10tDT運搬	m3	1			第 47 号単価表参照
建設発生土処理費	1処理、流6を除く	m3	1			
計	1 m3 当り					

第 7 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.5m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間				第 41 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 3

掘削深2.5m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m³(平0.2m³)

第 8 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.5m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 3

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深2.5m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 9 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深3.0m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	時間				第 41 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 4

掘削深3.0m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m³(平0.2m³)

第 10 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深3.0m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 4

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深3.0m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 11 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深3.5m以下 BH0.28
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 41 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 5

掘削深3.5m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 12 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深3.5m以下 トラッククレーン4.9t吊
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9t吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 5

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深3.5m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 13 号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

3.5m以下
昼間

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3
J03 切梁材区分 = 1

設置撤去
切梁材 水圧式ハイポット

J02 設置段数・掘削深 = 2

2段 3.5m以下

第 14 号 単価表

底部工

1号マンホール
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
碎石基礎工	機械投入埋戻工	m2	0.95			第 48 号単価表参照
インバートコンリート工	18-8-25 (高炉)	m3	0.16			第 49 号単価表参照
モルタル上塗工	マンホール用 配合比1:2	m2	0.74			第 50 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 15 号 単価表

組立マンホール設置工

1号3m超～4m以下
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工	1号(900mm) 3m超～4m以下 月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60070

J01 規格・仕様 = 5 1号(900mm) 3m超～4m以下
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 1 4箇所以上
J04 夜間作業補正 = 2 無

第 16 号 単価表

マンホール削孔費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 200mm	箇所	3			
計	1 式 当り					

第 17 号 単価表

底部工(組立式)

0号・楢円マンホール
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
碎石基礎工	機械投入埋戻工	m2	0.81			第 48 号単価表参照
インバートコンリート工	18-8-25 (高炉)	m3	0.12			第 49 号単価表参照
モルタル上塗工	マンホール用 配合比1:2	m2	0.61			第 50 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 18 号 単価表

組立マンホール設置工

2m超～3m以下
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工	0号(750mm)or楕円 2m超～3m以下 月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60070

J01 規格・仕様 = 2 0号(750mm)・楕円 2m超～3m以下
J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J02 施工規模 = 1 4箇所以上
J04 夜間作業補正 = 2 無

第 19 号 単価表

マンホール削孔費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 200mm	箇所	5			
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 150mm	箇所	1			
計	1 式 当り					

第 20 号 単価表

スリム内副管設置工

本管 φ 200mm 副管 φ 150mm

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
スリム型内副管	1号スリム UFMBT200×150 金具付	個	1			
スリム内副管用立て管	1000L	本	1			
スリム内副管用エルボ	150用	個	1			
スリム内副管用固定バンド	150用	個	2			
内副管取付工	1.0m以上1.5m未満	箇所	1			第 51 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 21 号 単価表

ます設置工(塩化ビニル製)

ます径φ200
昼間

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共)	ます(径200) 月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60090

J01 規格・仕様 = 2 ます径 200mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有
 J05 鋳鉄製防護蓋設置の有無 = 2 無

J02 施工規模 = 1 5箇所以上
 J04 夜間作業補正 = 2 無

第 22 号 単価表

ます設置工(塩化ビニル製)

鉄蓋

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共)	ます(径200) 月単位現場閉所	箇所	1			
塩化ビニル製ます設置工 加算額	鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)	箇所	1			
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60090

J01 規格・仕様 = 2 ます径 200mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無
 J05 鋳鉄製防護蓋設置の有無 = 1 有

J02 施工規模 = 2 5箇所未満
 J04 夜間作業補正 = 2 無

第 23 号 単価表

取付管布設および支管取付工

φ 150mm塩ビ管 塩ビ管3m未満

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材 工共)	管径150 月単位現場閉所	箇所	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60100

J01 規格・仕様 = 3 管径 150mm
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有
 J05 取付管長3m未満の場合の補正 = 1 有
 J07 本管材質コンクリート製・陶製の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 1 5箇所以上
 J04 夜間作業補正 = 2 無
 J06 取付管長5m以上12m未満の補正 = 2 無

第 24 号 単価表

床掘り

BH0.28
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030
 J01 土質 = 1
 J05 費用の内訳 = 1
 土砂 全ての費用
 J02 施工方法 = 5
 上記以外（小規模）

第 25 号 単価表

発生土運搬工

4tDT運搬
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 10 9.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
 有り

第 26 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下
昼間

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

※施工パッケージ単価

第 26 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下
昼間

1 m 当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1
J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 27 号 単価表

汚泥及び廃アルカリ運搬処分工

容器入り 処分費込み
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬		m3	1			第 52 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
計	1 m3 当り					

第 28 号 単価表

舗装版破碎積込

アスファルト舗装 15cm以下
昼間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
土木一般世話役		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB430310

J01 舗装版種別 = 1
J03 騒音振動対策 = 1
J06 積込作業の有無 = 1

アスファルト舗装版
不要
有り

J02 障害等の有無 = 1
J04 舗装版厚 = 1
J07 費用の内訳 = 1

無し
15cm以下
全ての費用

第 29 号 単価表

As廃材運搬処分工

10tDT運搬処分
処分費込み 昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	10tDT運搬	m3	1			第 53 号単価表参照
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 30 号 単価表

路盤掘削工

BH0.28
昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1
J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 31 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

4tDT運搬処分
処分費込み 昼間

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	4tDT運搬処分	m3	1			第 54 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	1.8			
計	1 m3 当り					

第 32 号 単価表

路盤工及び舗装工市道一般

表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤工	下層路盤 RC-40 t=200	m2	1			第 55 号単価表参照
上層路盤工	上層路盤 RM-30 t=150	m2	1			第 56 号単価表参照
アスファルト舗装工	再生密粒度As t=50	m2	1			第 57 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 33 号 単価表

L形側溝撤去復旧工

既設側溝再利用

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)	撤去再設置	m	73			第 58 号単価表参照
L形側溝既設基礎とりこわし	無筋コンクリート	m3	3			第 59 号単価表参照
Co廃材運搬処分工	無筋コンクリート 10tDT運搬処分 処分費込み	m3	3			第 60 号単価表参照
L形側溝基礎コンクリート打設工	無筋コンクリート	m3	3			第 61 号単価表参照
L形側溝基礎型枠工		m2	15			第 62 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 34 号 単価表

不陸整正

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型(第2次)]	ブレード幅 3.1 m	%	K1			
ロードローラ [カタム・排ガス対策型(第2次)]	運転質量 10 t 締固め幅 2.1 m	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量 8 ~ 20 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 34 号 単価表

不陸整正

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生粒度調整碎石	RM30~0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 2
 J03 補足材料 = 8

有り
 再生粒度調整碎石 RM-30

J02 補足材料平均厚さ = 9
 J04 費用の内訳 = 1

29mm以上34mm未満
 全ての費用

第 35 号 単価表

アスファルト舗装工(機械)市道一般

表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)
昼間

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
アスファルトフィニッシャ	[ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m	%	K1			
タイヤローラ [普通型]	運転質量8～20t	%	K2			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12t	%	K3			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手 (特殊)		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 35 号 単価表

アスファルト舗装工(機械)市道一般

表層(再生密粒度As13mm t=50 Pコート)
昼間

1 m2 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (1 3)	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 4
J05 材料 = 11
J07 費用の内訳 = 1

3.0m超
再生密粒度アスコン (1 3)
全ての費用

J04 1層当平均仕上厚 70mm以下[mm] = 50
J06 瀝青材料種類 = 2 プライムコート PK-3

第 36 号 単価表

区画線工

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置	白 実線 15cm	m	98			第 63 号単価表参照
区画線設置	白 実線 45cm	m	3			第 64 号単価表参照
溶融噴射式路面カラー塗装	ミストグリップ 緑 実線 15cm	m	231			見積
計	1 式 当り					

第 37 号 単価表

交通誘導警備員 B

昼間

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 38 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板)
往路 昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

関東・中部・近畿

J04 製品長区分 = 1

12m以内

J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10

J05 運搬割増率 = 4

各種 (実数入力)

J07 その他の諸料金の有無 = 2

無

第 39 号 単価表

仮設材等の運搬

(鋼矢板)
復路 昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

関東・中部・近畿

J02 片道運搬距離 (実数入力) [km] = 10

J04 製品長区分 = 1

12m以内

J05 運搬割増率 = 4

各種 (実数入力)

J06 運搬割増率 (実数入力) = 0

J07 その他の諸料金の有無 = 2

無

第 40 号 単価表

仮設材等の積込み取卸し費

往復分
昼間

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み、取卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積込み、取卸し（往復分）

第 41 号 単価表

バックホリ排対(2次)

山積0.28m3(平積0.2m3)

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)		人				
軽油		L	5.9			
バックホウ(クローラ) [標準]	排ガス型(第2次) 山積0.28m3	時間				
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	1時間 当り					

SDGD10032

第 42 号 単価表

砂基礎設置工(機械施工)

(市場単価)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎工(手間のみ)	砂基礎設置 機械施工 月単位現場閉所	m3	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m3 当り					

SDGD60040

J01 施工規模 = 1

10m3以上

J02 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 有

J03 夜間作業補正 = 2

無

第 43 号 単価表

機械投入埋戻工(ハックホ)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
ハックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 41 号単価表参照
タンパ締固め		m3	100			第 65 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10130

J01 ハックホ規格 = 1

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

J02 タンパ締固め数量(m3)(実数) [m3] = 100

第 44 号 単価表

ダンプトラック

4t積級

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人				
軽油		L	32			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	1.29			
タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	1.29			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10180

J01 機械損耗部品補正 = 2

良好

第 45 号 単価表

発生土運搬工

BH0.28積込 4tDT運搬 現場～仮置場

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック	4t積級	日				第 44 号単価表参照
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10160

J01 ダンプトラック規格 = 1
 J03 DID区間 = 2
 J05 タイヤ損耗費 = 2

ダンプトラック 4t積級
 DID区間あり
 良好

J02 運搬距離 (実数入力) [km] = 2
 J04 バックホウ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 47 号 単価表

土砂等運搬

10tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 1 標準
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J06 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 14.0km以下

J02 積込機種・規格 = 1
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3)
 有り

第 48 号 単価表

砕石基礎工

機械投入埋戻工

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン	RC-40	m3	24			
諸雑費		式	1			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SDGD10700

J01 バックホウ規格区分 = 2

BH(1次) 山積0.28m3(平積0.20m3)

J02 砕石の厚さ(m) (実数入力) [m] = 0.2

第 49 号 単価表

インバートコンリート工

18-8-25 (高炉)

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホ(クロー) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
運転手 (特殊)		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 49 号 単価表

インバートコンリート工

18-8-25 (高炉)

1 m3 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2
 J03 コンクリート規格 = 41
 J13 費用の内訳 = 1

小型構造物
 18-8-25 (高炉)
 全ての費用

J02 打設工法 = 3
 J05 養生工の種類 = 2

バックホウ (クレーン機能付) 打設
 一般養生

第 50 号 単価表

モルタル上塗り

マンホール用
配合比1:2

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
左官		人				
普通作業員		人				
モルタル練		m3	0.02			1*(20/1000) 第 66 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m2 当り					

SDGD10740

J01 配合比 = 3
J03 セメント種類 = 2

配合比 1 : 3
高炉

J02 モルタル厚さ(10~30mm) (実数入力) [mm] = 20

第 51 号 単価表

内副管取付工

1.0m以上1.5m未満

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD10825

J01 段差(m) = 2

段差1.0m以上～1.5m未満

第 52 号 単価表

運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7
 J04 DID区間の有無 = 2

人力
 有り

第 53 号 単価表

殻運搬

10tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10t積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3
 J03 DID区間の有無 = 2
 J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
 有り
 全ての費用

J02 積込工法区分 = 3 機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
 J08 運搬距離 (km) (DID区間有) = 6 19.5km以下

第 54 号 単価表

土砂等運搬

4tDT運搬処分

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5
 J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
 有り

第 55 号 単価表

下層路盤工

下層路盤 RC-40 t=200

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	山積0.11m ³ （平積0.08m ³ ）	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンパインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 55 号 単価表

下層路盤工

下層路盤 RC-40 t=200

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 200

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 56 号 単価表

上層路盤工

上層路盤 RM-30 t=150

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	山積0.11m ³ （平積0.08m ³ ）	%	K1			
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コ ンパインド式]	運転質量3～4t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM30～0	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 56 号 単価表

上層路盤工

上層路盤 RM-30 t=150

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚 (実数入力) [mm] = 150

J03 材料 = 2

再生粒度調整碎石 RM-30

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 57 号 単価表

アスファルト舗装工

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第 57 号 単価表

アスファルト舗装工

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410261
 J01 平均幅員 = 1
 J05 材料 = 11
 J07 費用の内訳 = 1
 1. 4m未満 (仕上厚50mm以下)
 再生密粒度アスコン (1 3)
 全ての費用
 J02 1層当平均仕上厚 50mm以下 [mm] = 50
 J06 瀝青材料種類 = 2
 プライムコート PK-3

第 58 号 単価表

プラスチックL形側溝(製品長 0.6m/個)

撤去再設置

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホ(クロー) [標準・クレーン機能付き]	排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³ 2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手 (特殊)		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
コンクリートL形	250A 350×175×600	%	Z1			再利用
軽油		%	Z2			

第 58 号 単価表

プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)

撤去再設置

1 m 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m 当り					

SCB222710

J01 作業区分 = 3

J03 L形側溝の種類 = 1

据付・撤去

C250A コンクリートL形 (350×175×600)

J02 基礎碎石の有無 = 1

J04 費用の内訳 = 1

有り

全ての費用

第 59 号 単価表

L形側溝既設基礎とりこわし

無筋コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間 人力施工 制約受ける 月単位現場閉所	m3	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 1

無筋構造物
有り

J02 工法区分 = 2

人力施工
無し

J03 時間的制約の有無 = 2

J04 夜間作業の有無 = 1

第 60 号 単価表

Co廃材運搬処分工

無筋コンクリート 10tDT運搬処分
処分費込み

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 67 号単価表参照
無筋C o 処分費	東葛飾	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 61 号 単価表

L形側溝基礎コンクリート打設工

無筋コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 1

J03 コンクリート規格 = 41

J07 現場内小運搬の有無 = 2

無筋・鉄筋構造物

18-8-25 (高炉)

無し

J02 打設工法 = 4

J05 養生工の種類 = 2

J13 費用の内訳 = 1

人力打設

一般養生

全ての費用

第 62 号 単価表

L形側溝基礎型枠工

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

SCB240210

J01 型枠の種類 = 1

一般型枠

J02 構造物の種類 = 5

均しコンクリート

第 63 号 単価表

区画線設置

白 実線 15cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 実線15cm 制約受ける 月単位現場閉所	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	570			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	25			
接着用プライマー	区画線用	kg	25			
軽油		L	40			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 1 実線 15cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 64 号 単価表

区画線設置

白 実線 45cm

1000 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間	豪雪無 実線45cm 制約受ける 月単位現場閉所	m	1,000			
トラフィックペイント 溶融 型	3種1号 ビーズ15~18 白	kg	1,700			
ガラスビーズ	0.106~0.850mm	kg	75			
接着用プライマー	区画線用	kg	75			
軽油		L	73			
諸雑費 (率+まるめ)		式	1			
計	1000 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821210

J01 夜間作業の有無 = 1 無し
 J03 豪雪補正の有無 = 1 無し
 J05 時間的制約の有無 = 2 有り
 J07 排水性舗装に施工する場合の補正 = 1 無し
 J09 溶融式塗料規格 = 1 含有量15~18%
 J12 プライマー規格 = 1 アスファルト舗装

J02 施工方法区分 = 1 溶融式手動
 J04 規格・仕様区分 = 4 実線 45cm
 J06 塗布厚 = 1 1.5mm
 J08 未供用区間の場合の補正 = 1 無し
 J11 塗料区分 = 1 白
 J13 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 65 号 単価表

タンパ締固め

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210450

J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 66 号 単価表

モルタル練

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
セメント（高炉B）	25kg袋入	%	Z1			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	%	Z2			
	1 m3 当り					

SCB240060

J01 セメント種類 = 2

高炉

J02 費用の内訳 = 1

全ての費用

契約条件明示及び特記仕様書

松戸第2処理分区汚水準幹線工事（R7-2工区）

一般事項

1-1 適用

本仕様書は、松戸市が発注する「松戸第2処理分区汚水準幹線工事（R7-2工区）」に適用する。本仕様書および図面等の設計図書に定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準拠するものとする。

1-2 目的

本工事の目的は、より良い市民生活を目指す本市下水道整備事業に基づき、その計画を遂行する為に必要な施設を構築することにある。受注者は、その主旨をよく理解した上で施工にあたらなければならない。

1-3 施工計画書

1. 受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。この場合、受注者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。なお、計画においては、請負者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画するものとし、設計内容を熟知した上で、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表
- (4) 指定機械
- (5) 主要機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画
- (9) 安全管理
- (10) 緊急時の体制及び対応
- (11) 交通管理
- (12) 環境対策

(13) 現場作業環境の整備

(14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

(15) その他

2. 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。
3. 受注者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。
4. 本工事の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、受注者において任意に計画できるものとし、その詳細については施工計画書に明示しなければならない。

1-4 使用材料

受注者は、工事着手前に設計図書及び監督職員に指定された材料について監督職員に提出しなければならない。

1-5 施工管理

施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事共通仕様書・施工管理基準に基づき行うものとする。

1-6 工事着手前の確認

1. 受注者は、工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかを十分に確認し、その結果を監督職員に報告しなければならない。
2. 受注者は、工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等へ周知を徹底し、通行人を含め第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。
3. 受注者は、工事の施工に当たり、損傷の受けるおそれのある境界杭または障害となる杭の設置換え、移設及び復元を含めて適切な措置を講じなければならない。
4. 既設の埋設物については、施工者においても十分調査し、要所においては必要により試験掘りを行い、企業者の立ち会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。
5. 本工事に伴う家屋事前調査については実施していないため、請負者においては万が一の影響を考慮し、工作物等の状況を原則所有者立ち会いまたは了解を得て写真により記録し、施工計画書と共に監督職員に提出するものとする。工事用地、資材及び重機置場として借地した土地の近接家屋についても同様とする。

1-7 その他

1. 施工管理に関しては、十分に工程を管理し定期的にフィードバックするとともに毎月1回下水道施工管理様式（下水道第4号様式）に基づき月間工程報告書を提出しなければならない。
2. 工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。
3. 現場は常に整理整頓に心掛け、施工中は勿論、施工のしていないときにも危険のないようにしておかなければならない。
4. 受注者は工事（工事請負代金額が500万円以上（消費税を含む））の施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工計画書に明記して提出することができる。
5. 本工事施工において、下記のとおり移設を実施する。

5-1 地上支障物・地下埋設物の有無

管理者	支障物件	支障位置	対処方法	対処時期
東京電力	—	—	—	—
NTT	—	—	—	—
JCOM	—	—	—	—
京葉ガス(株)	ガス管	1030-1-1 1030-1-2	移設	令和7年度秋頃
千葉県水道局	—	—	—	—

- 5-2 企業者立会い等及び現地を確認して疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議すること。

環境対策について

1. 受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達、昭和62年3月30日）、関連法令並びに仕様書の規定を遵守の上、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の問題については、施工計画及び工事の実施の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めなければならない。
2. 受注者は、環境への影響が予知されまたは発生した場合は、直ちに応急措置を講じ監督職員に報告し、監督職員の指示があればそれに従わなければならない。また、第三者からの環境問題に関する苦情に対しては、誠意をもってその対応にあたり、その交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督職員に報告し、指示があればそれに従うものとする。
3. 工事の使用機械は、低騒音型・低振動型及び排出ガス対策型機械を使用し、第三者に不快感を与えないよう努めること。また、工事施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、受注者においても事前に調査するなど適切な措置を講ずること。

交通安全管理について

1. 本工事は昼間作業(9:00～17:00)を原則とする。施工中の交通整理員は、1日3名以上の配置を原則とするが、工種や施工形態及び交通量等を考慮し、増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。
2. 交通規制は、周辺工事との調整を図り適切に行わなければならない。規制においては、近隣住民や通過交通(通行人を含む)等への影響を最小限に留めるよう努めること。また、迂回路や迂回先についても常に把握し、周辺工事で通行止め等が行われている場合には、双方で協議して通過交通への説明ができるよう配慮を行うこと。
3. 施工においては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守しなければならない。
4. 本工事で使用する建設機械や資材等は、原則夜間・休日に道路上に放置してはならない。なお、その保管方法については施工計画書に明示しなければならない。
5. 集中豪雨に対する対策を具体的に、施工計画に明記すること。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、柏市岩井 296-1、片道運搬距離 14.4 kmの(株)エスブロックに搬出するものとする。建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。発生土(633m³)は、流山市野々下2-478-2、仮置き場所から片道7.4kmの(株)大勝工業流山土質改良プラントに搬出し処理するものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材(63m³)は、柏市高田1116-32地先、片道運搬距離12.4kmの(株)丸昭建材に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- 1) アスファルト塊(58m³)は市川市下妙典1153-1地先、片道運搬距離19.3kmの進榮建設興業(株)に運搬し、処理するものとする。
- 2) 無筋コンクリート(3m³)は、市川市高谷1963地先、片道運搬距離5.6kmの石建商事(株)に運搬し、処理するものとする。
- 3) 汚泥及び廃アルカリ(0.94m³)は、八千代市吉橋字内野1075-9地先、片道運搬距離19.5kmの千葉丸辰道路(株)に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理区分ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

工事实績情報作成、登録（旧工事カルテ作成、登録）について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に完成時は、工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

週休 2 日制適用工事（現場閉所による週休 2 日工事）について

本工事は、週休 2 日制適用工事である。

受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）達成相当の経費を補正している。

週休 2 日制の実施にあたっては「松戸市建設工事週休 2 日制適用工事实施要領（令和 7 年 4 月施行）に基づき行うこと。

受注者は、現場着手前に対象期間について監督職員と協議し、現場閉所予定日がわかる工程表等を監督職員に提出すること。

受注者は毎月の工事履行報告書を提出すること。

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事について

熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

現場作業の安全管理について

本工事の各工種に応じて必要な作業主任者を選任し、現場作業の安全管理を徹底しなければならない。また、作業に従事するうえで特別教育が必要な場合、必要な教育を受講していない者を作業に従事させてはならない。

受注者は作業主任者及び作業員を記載した一覧表を作成し、施工体制台帳に添付すること。

本工事では、以下の点について特に留意すること。

- ・掘削工及び土留支保工については、「労働安全衛生規則 第二編 第六章 掘削作業等における危険の防止」等を参考に、必要な措置を講じること。
- ・既設人孔内等、酸素欠乏や硫化水素中毒の発生が疑われる箇所については、「酸素欠乏症等防止規則(昭和 47 年労働省令第 42 号)」や「下水道管路等内作業における硫化水素中毒防止対策の徹底について(基安労発 0808 第 3 号)」等に定められた事項等に留意し、必要な措置を講じること。

品質証明について

1. 品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査（完成、出来形、中間検査をいう。以下同じ。）の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により、検査時までに監督職員へ提出しなければならない。（別紙様式 1、別紙様式 3（独自の様式でも可））
2. 品質証明員は、当該工事に従事していない社内の者とする。また、原則として品質証明員は検査に立会わなければならない。
3. 品質証明は、契約図書及び関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。
4. 品質証明員の資格は10年以上の現場経験を有し、技術士もしくは1級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。
5. 品質証明員を定めた場合、書面により氏名、資格（資格証書の写しを添付）、経験及び経歴書を監督職員に提出しなければならない。なお、品質証明員を変更した場合も同様とする。（別紙様式 2）
6. 品質確認の結果、改修すべきものがあつた場合は速やかに改修し、社内検査合格後、監督職員の確認を得るものとする。

(様式 1)

品質証明書

工事名称

品質証明記事				
品質証明項目	実施日	箇所	品質証明員 氏名 印	記事

社内検査した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

請負者 住所

氏名

(様式2)

品質証明員選任届

監督職員 殿

請負者 住所

氏名

工事名称

工 期 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで

請負金額

上記工事の品質証明員を下記のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて報告します。

記

	氏 名	経験年数	資 格
1			
2			
3			

以上

(様式3)

工事名称
検査日時
検査員氏名

社内検査記録

検査項目		認定基準	評価	特記事項	
書類に関する事項	施工計画書	施工計画書は適切に活用されているか。			
		施工計画書と実施が異なる場合には適切に処理されているか。			
	工程管理	工程表を作成し、工程をフォローアップしているか。			
	協議書等の整理	協議書、指示書は適切に処理されているか。			
		工程、工法、工期に変更がある場合はどうか。			
	出来形管理	出来形数量計算書及び完成図書は作成されているか。			
		出来形管理表は作成されているか。			
	品質管理	材料検査表、試験成績表、ミルシート等は整理されているか。			
		管理図表は整理されているか。			
		各工種、項目毎に管理基準精度を満足しているか。			
	写真管理	写真撮影内容は目的を満足しているか。			
		電子データ及びアルバムの整理は要領よくなされているか。			
		着工前、しゅん工後の写真はよく撮れているか。			
	安全管理	安全日誌、安全パトロール等の資料は整理されているか。			
		第三者への安全対策は充分になされているか。			
		安全・訓練等の実施。			
	現場に関する事項	出来形	目的物の出来形は設計図書を満足しているか。		
			二次製品は設計図書に示されている規格を満足しているか。		
目的物の仕上がりはどうか。					
隣接する他の工作物との取り合いはどうか。					
後片付け及び現場の清掃		車道部、歩道部、特に目的物周辺の清掃。			
		残材の片付け。			
		隣接する家屋等の補償。			
		仮設工事用道路、現場事務所等の片付け清掃。			
保安関係		保安施設は的確に設置されているか。			
		標識類の設置は適切か。			
		第三者からの苦情処理は適切か。			
		事故の発生状況。			
現場のイメージアップ	施工計画書のとおり実施しているか。(経費計上の場合)				
評価記号の判定	A : 90 点以上 B : 75~89 点 C : 60~74 点 D : 59 点以下 A、B は合格 C 以下は正				
(記事)					

土工

1. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、掘削の範囲や施工方法については請負者の定めるところによるものとする。
2. 設計図書に特別な定めがある場合を除き、埋め戻しに使用する土砂は、改良土とし、建設副産物の再利用に寄与するものとする。但し、発生土が良質で埋戻し材として使用できると判断した場合は監督職員の承諾を得て使用できる。この場合、設計変更の対象となる。
3. 現場の状況により、再生砂を埋め戻し材として使用する場合は、1購入先あたり1検体の試験を行うものとする。六価クロムについて、平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される測定法に基づき、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。（「土壌の汚染に係る環境基準について」参照）
4. 排水施設工事（本管、取付管、マンホール等）の埋戻しは、構造物に影響が出ないように配慮し、図面等で別に定める場合を除き、1層の巻き出し厚は以下の通りとする。

松戸市道	一層30cm以内での転圧
千葉県管理道路	一層15cm以内での転圧
その他公道	管理者の基準に従うこと。
5. 掘削において、高さが規定されている場合は、余掘り等出来るだけ地山を乱さないように施工すること。また、掘削面が軟弱な場合は砂等で置換するなど検討すること。
6. 国道や県道、河川占用を伴う施工箇所がある場合において、その施工方法については管理者の許可条件に従わなければならない。
7. 改良土による埋戻しにあたっては、「埋戻しの施工管理基準」に従い管理しなければならない。

マンホール工

1. マンホールの設置位置について、設計図書に示された事項をもとに、埋設物、道路交通、住民の生活、接続管きよの流入流出方向に注意し、施工はもちろん管理面についても配慮して決定しなければならない。なお、位置決定に際し、監督職員の確認を得なければならない。
2. マンホール天端の仕上がり高さ及び勾配は、道路または敷地の表面勾配に合致するよう仕上げなければならない。
3. マンホールふたの高さの調整にあたっては、調整リング、調整金具等で行い、調整部のモルタルは、無収縮モルタルにより十分充填すること。また、目地の破損が生じないように施工すること。
4. 組立マンホールを使用する場合は、箇所別に部材の割付を施工計画し、流入管（将来管を含む）が目地から 15 cm 以上離隔をとるようにしなければならない。
5. 鉄ぶたについては、全て蝶番式の仕様とする。
6. マンホール内空高（マンホール芯の地盤高から、当該人孔最下流底高の差）が 2m 以上については、転落防止用はしごを設置すること。
7. インバートの横断勾配は、10%とする。
8. 人孔の割付（中間スラブ、ステップ等の位置も含む）の計画を明確に作成し、材料承認で、監督職員に了承を得なければならない。
9. 管きよと人孔の接続には短管を使用すること。接続部については接合剤、モルタル等を使用し止水性を確保すること。
10. マンホール深さが、5m を超える時は、超える部分の部材をⅡ種にするように割付すること。また中間スラブを設けること。
11. 中間スラブの数は、マンホール深さが 5m 超え 8m 以内は 1 箇所/1 人孔とする。マンホール深さが 8m を超える時は、監督職員と協議すること。
12. 中間スラブの位置は、インバート最高天端部から 2m 以上 4m 以下とすること。サービス管や副管との兼ね合いにより、この基準を満たせない場合は、別途監督職員と打合せするものとする。
13. 人孔に設置するステップは、踊場直壁また F R P スラブ等の種類に関わらず中間スラブで互い違いに設置すること。

開削工、汚水ます設置及び取付管工

1-1 工程

開削工は日々復旧し交通開放後、通行に支障の無いようにしなければならない。路面表示等がある場合は、仮設の措置を必ず講ずること。

1-2 仮設

1. 土留工に関し、図面等の設計図書に記載のない事項については、施工者において、設計意図を踏まえ検討し、施工計画するものとする。但し、下記に示す事項は遵守するものとする。

支保工	$H \leq 2.0\text{m}$	1 段	
	$2.0\text{m} < H \leq 3.5\text{m}$	2 段	
	$3.5\text{m} < H$	3 段	H : 掘削深

建込工法の根入れ長は 20cm 以上とる。

圧入工法の根入れ長は 50cm 以上とる。

2. 打ち込み矢板は、土べら落としを十分に行い、また引き抜きにおいては、1 枚おきや千鳥に抜くなど構造物に影響しないように施工すること。なお、施工が原因で目的物の品質低下が確認された場合は改善を求めることがある。
3. 図面上に記した仮設標記は、指定ではなく積算上の標記である。管布設を行うにあたり、安全や出来型、品質を確保するための仮設を請負者で検討し、施工計画に明示すること。

1-3 汚水ます設置及び取付管工

1. 汚水ますの設置位置については、使用者（地権者）の立会いを求め、再度確認のうえ決定しなければならない。
2. 設置完了後は、速やかに使用者及び地権者に設置確認印をもらうこと。
3. 私道ます設置においても、宅内ますと同様に対処すること。基本的に流入径は 150mm とし、流入方向はストレートとする。
4. ますは、宅地・私道形態等を十分に調査したうえ再確認すること。なお、最小ます深は流入口で 80cm とし、いたずらに深くすることを避けるとともにます深が 1.20m を超える場合は底部有孔式（ドロップ式）を検討すること。
5. 急勾配の場所に設置する場合は、ふたの設置に配慮した施工を心掛けること。
6. ますの取り付けは宅内改造をする側に立って使用者（地権者）に適切な助言をするとともに、使用者の要望が無い場合は取り付け位置を限定することのないよう施工すること。
7. ますの埋戻しは十分に行い、引渡し前にも確認すること。

舗装復旧工

1. 舗装構成は図面によるが、路盤については骨材の最大粒径の 2 倍を最小限度として複層転圧し密度を高めること。最大限度は以下の通りである。

松戸市道	上層路盤は 15cm 以下、下層路盤は 20cm 以下
千葉県管理道路	上層路盤、下層路盤共 10cm 以下
その他公道	管理者の基準に従うこと。

これによらない場合は密度試験を行い品質の証明をすること。
2. 本工事の路線は、全て管布設完了後、基準範囲の復旧仕上げとする。この際、即日にて舗設を行うこととする。また、舗装本復旧時にやむを得ず路盤にて開放する時は、監督職員と協議すること。ただし、休日の路盤開放は避けること。
3. 復旧は、解放後段差や凹凸など通行に危険のない様に行わなければならない。瑕疵による場合は引渡し後であっても改善を求めることがある。

週休2日制適用工事 チェックリスト

工事名 _____

月	日	曜日	休工日 (土日祝日以外も記載)	以下の場合には理由を記載 ① 土日祝日に作業をした場合 ② 平日を休工とした場合

閉所日数	日	※必ず作業日報等で閉所日を確認すること。
対象日数	日	
閉所率	%	※期間全体での閉所率

管布設工・マンホール設置工・ます設置及び取付管布設工

工種	形状寸法	単位	合計
管布設工			
1) 内径200mm塩ビ管布設工			
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径200mm	m	247.40
2) 本管土工			
機械掘削工	BH0.28	m ³	651
砂基礎設置工(機械施工)	改良土	m ³	115
機械投入埋戻工(バックホウ)	改良土	m ³	502
発生土運搬工	機械積込み	m ³	617
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込 10tDT運搬処理(処分費込み)	m ³	34
3) 本管土留工			
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下 BH0.28	m	17
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下 トラックローザ4.9t吊	m	17
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.0m以下 BH0.28	m	86
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.0m以下 トラックローザ4.9t吊	m	86
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深3.5m以下 BH0.28	m	152
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深3.5m以下 トラックローザ4.9t吊	m	152
土留支保工(軽量金属支保工)	3.5m以下	m	255
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1
マンホール設置工			
1) 組立1号マンホール設置工			
マンホール鉄蓋(浮上・飛散防止)	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	2
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ600mm ロック付き	個	2
組立1号マンホール	内径900mm、H=3.1m	基	2
底部工(組立式)	1号マンホール	箇所	2
組立マンホール設置工	1号 3m以下	箇所	2
マンホール削孔工	φ200	式	1
無収縮モルタル	調整高 4cm	箇所	2
2) 組立楕円マンホール設置工			
マンホール鉄蓋(浮上・飛散防止)	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	5
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ600mm ロック付き	個	5
組立1号マンホール	内径900mm、H=2.9m	基	5
底部工(組立式)	1号マンホール	箇所	5
組立マンホール設置工	1号 3m以下	箇所	5
マンホール削孔工	φ200	式	1
無収縮モルタル	調整高 4cm	箇所	5
スリム内副管設置工	本管φ200mm 副管φ150mm	式	1
ます設置及び取付管布設工			
1) 小口径汚水ます設置工			
ます設置工(塩化ビニル製)	ます径φ200	箇所	23
ます設置工(塩化ビニル製)	鉄蓋	箇所	1
汚水ます用防護ハット	φ200mm T-14	個	1
小口径汚水ます防護ハット内蓋	φ200mm用	個	1
2) 内径150mm取付管布設工			
取付管布設および支管取付工	φ150mm塩ビ管 塩ビ管3m以上5m未満	箇所	24
3) 取付管土工			
床掘り	人力	m ³	20
発生土運搬工	人力積込、2tDT運搬	m ³	16
機械投入埋戻工(バックホウ)	改良土	m ³	16
残土処分工	人力積込 2tDT運搬仮置 BH0.8積込	m ³	4

位置図・系統図

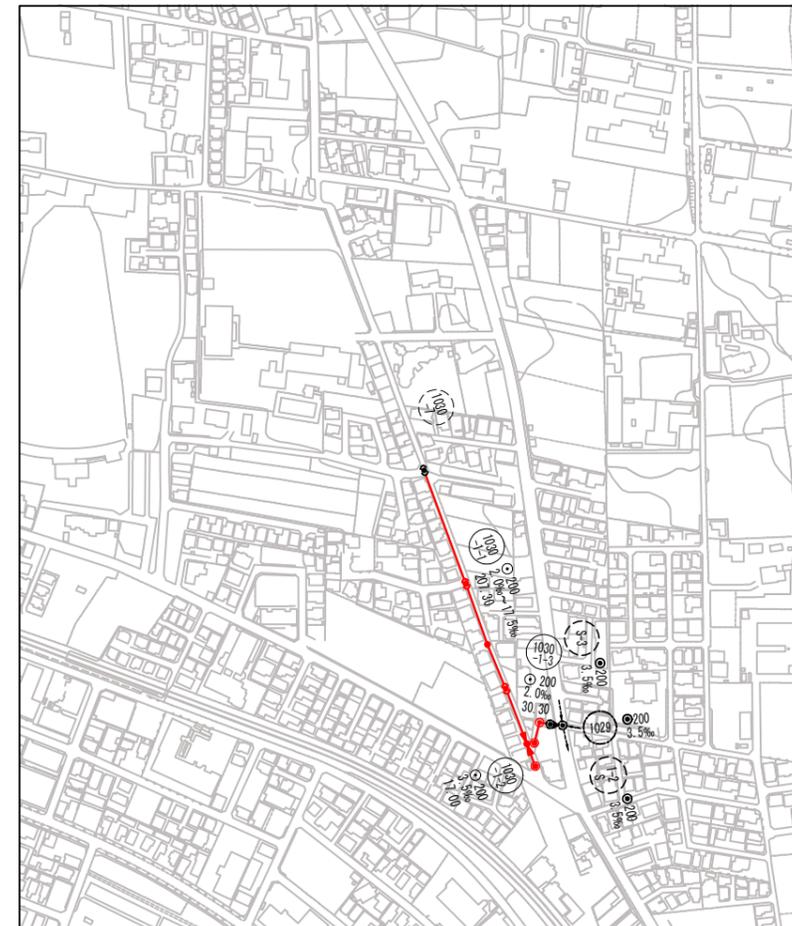
工事概要

○路線延長	254.6m
○内径200mm管布設工	254.6m
○1号組立マンホール設置工	2箇所
○楕円組立マンホール設置工	5箇所
○汚水樹設置及び取付管工	24箇所
○付帯工	1式

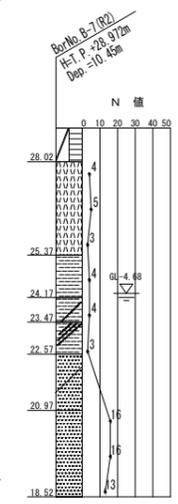
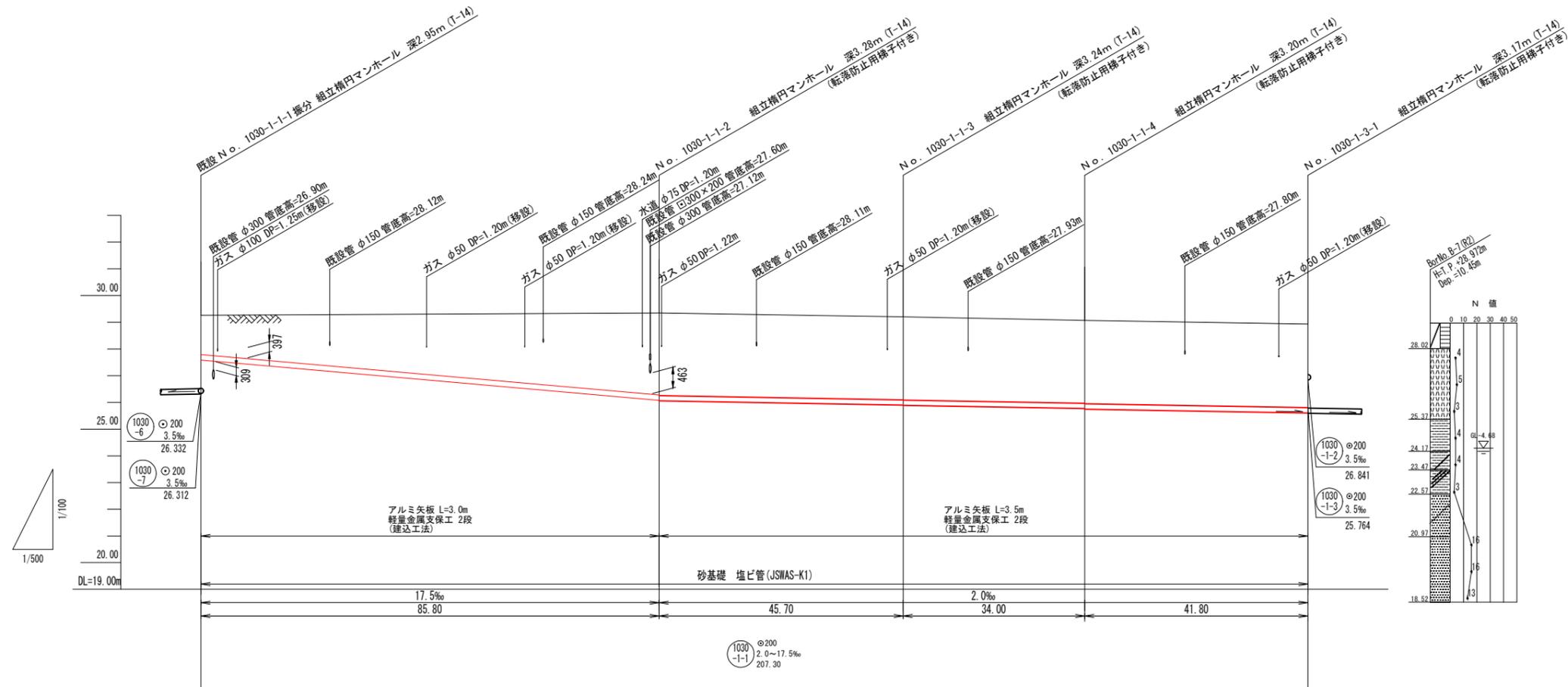
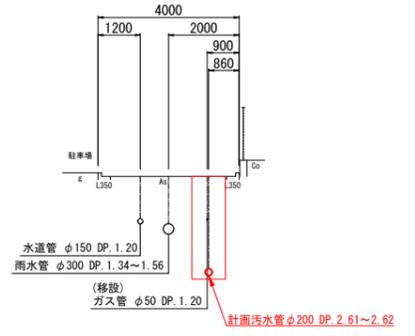
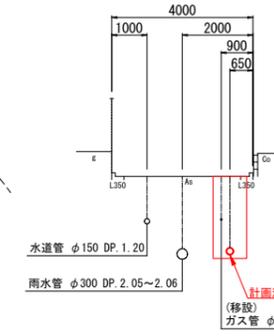
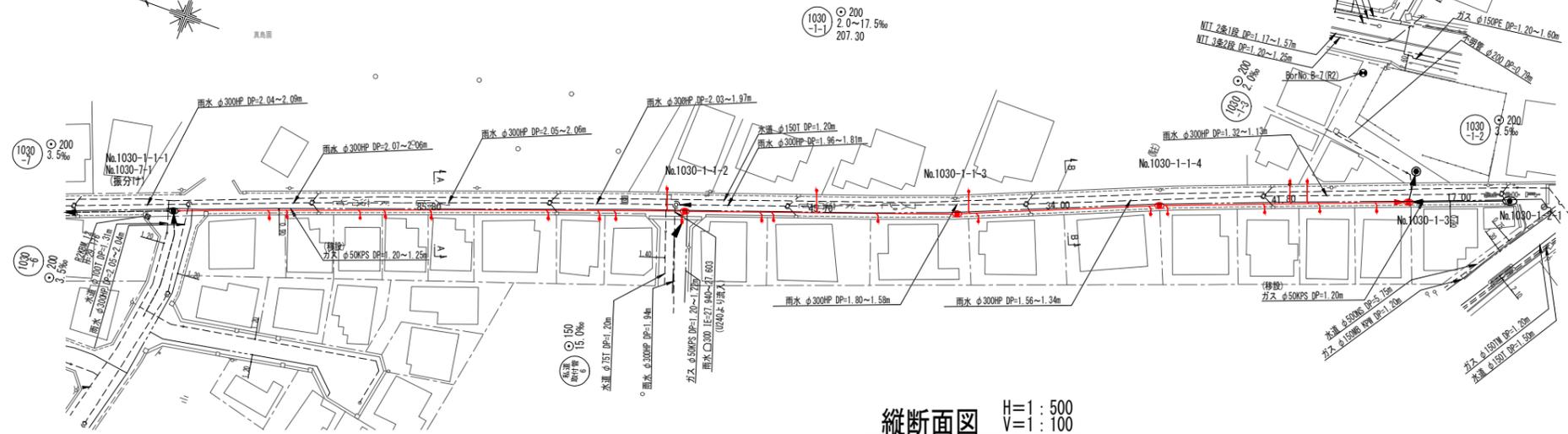
位置図
S=1:5000



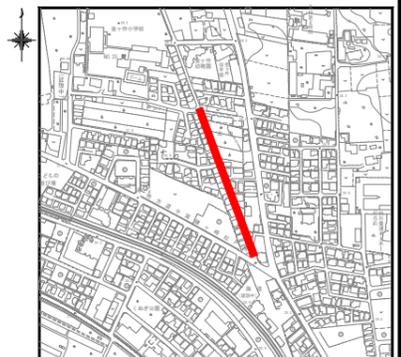
系統図
S=1:2500



2E14	
令和 7 年度	
工事名	松戸第2処理分区汚水準幹線工事 (R7-2工区)
路線番号	
工事箇所	松戸市 金ヶ作 地先
図面種別	位置図・系統図
縮尺	図示
図面番号	全 4 葉ノ内第 1 号
松戸市建設部下水道整備課	



地盤高	29.26	29.35	29.20	29.07	28.93
掘削深	1.78	3.37 3.39	3.33 3.35	3.29 3.31	3.25
土盛り	1.47	3.06 3.08	3.02 3.04	2.97 2.99	2.94
管底高	27.589	26.087 26.067	25.976 25.956	25.888 25.868	25.784
追加距離	0.00	85.80	131.50	165.50	207.30



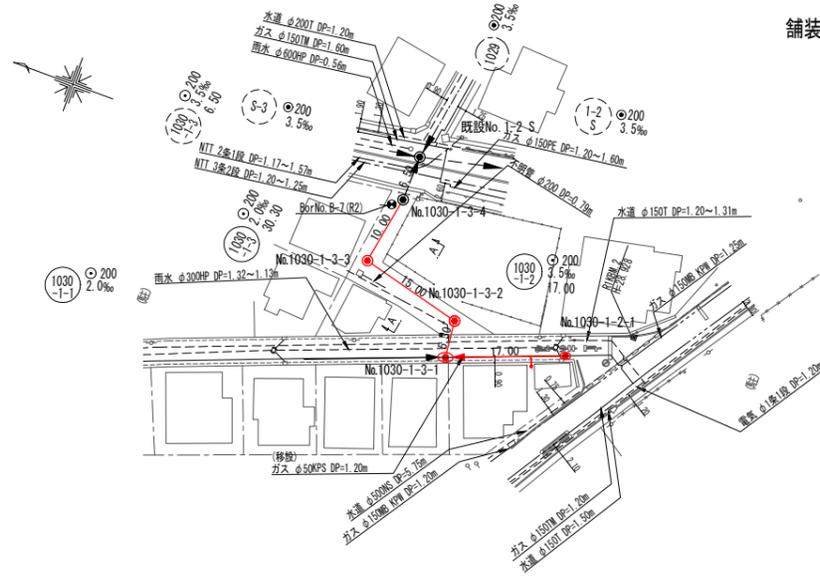
2E14

令和 7 年度
工事名 松戸第2処理分区分水幹線工事 (R7-2)
路線番号 (1030)
工事箇所 松戸市 金ヶ作 地先
図面種別 平面図・縦断面図 (1/2)
縮尺 図示
図面番号 全 4 葉ノ内第 2 号
松戸市建設部下水道整備課

金ヶ作

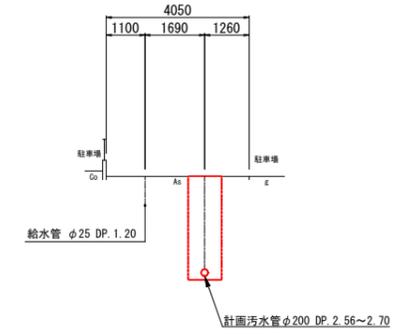
平面図 S=1:500

松戸市
金ヶ作地先
舗装復旧・市道一般・市道二級(N2・L2)

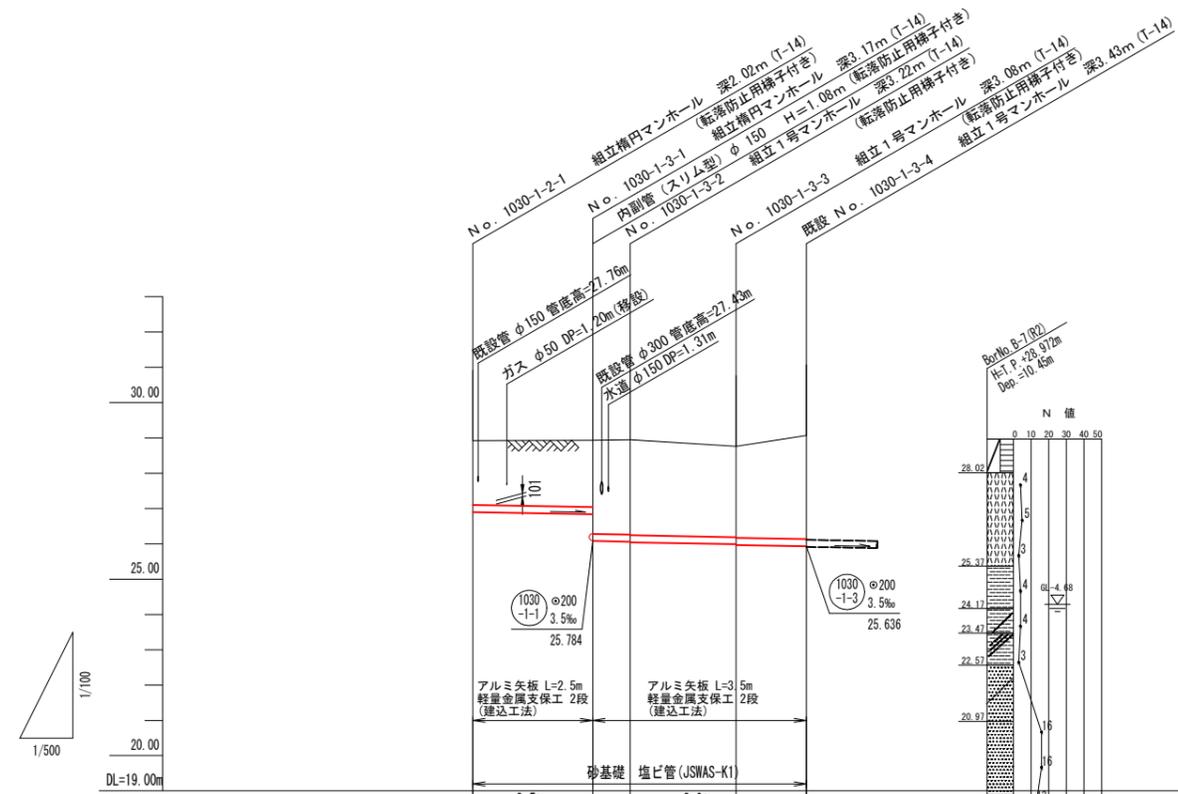


横断面図 S=1:100

A-A断面図

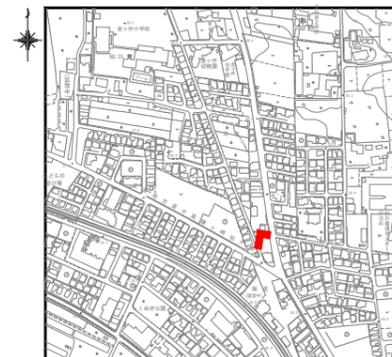


縦断面図 H=1:500
V=1:100



地盤高	28.92	28.93	28.95	28.76	29.07
掘削深	2.13	2.20 3.27	3.31 3.33	3.17 3.19	3.52
土盛り	1.81	1.88 2.96	2.99 3.01	2.85 2.87	3.20
管底高	26.901	26.841 25.764	25.753 25.733	25.703 25.683	25.663
追加距離	0.00	17.00	22.30	37.30	47.30

案内図 S=1:5000

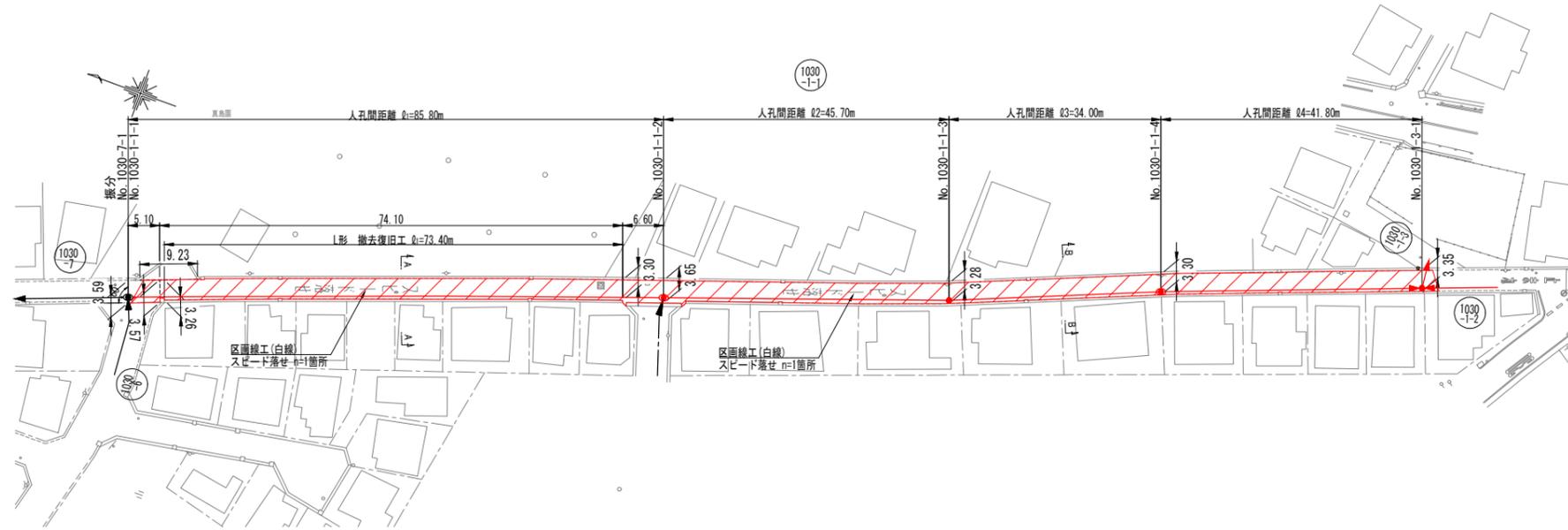


2E14

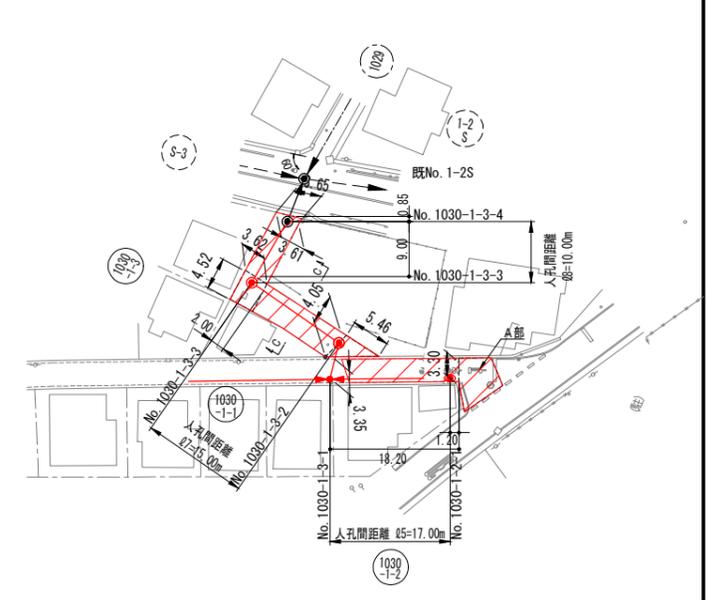
令和 7 年度	
工事名	松戸第2処理分区汚水幹線工事 (R7-2)
路線番号	(103) (103)
工事箇所	松戸市 金ヶ作 地先
図面種別	平面図・縦断面図 (2/2)
縮尺	図示
図面番号	全 4 葉ノ内第 3 号
松戸市建設部下水道整備課	

付帯工図(本復旧図)

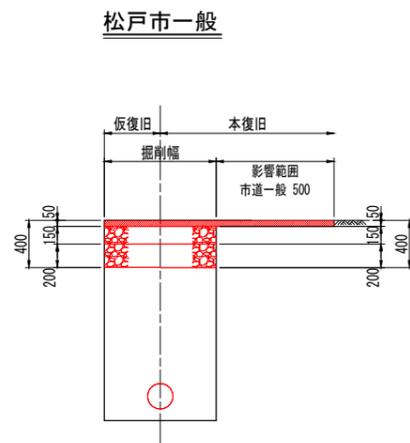
平面図 S=1:500



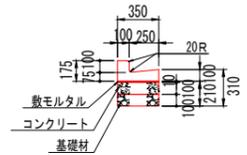
平面図 S=1:500



断面図 S=1/30



L形側溝 (350) S=1/30

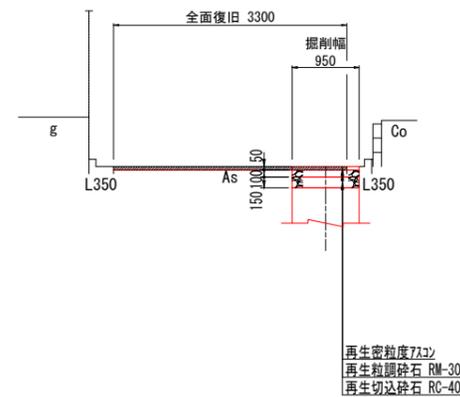


材料表 (10m当り)

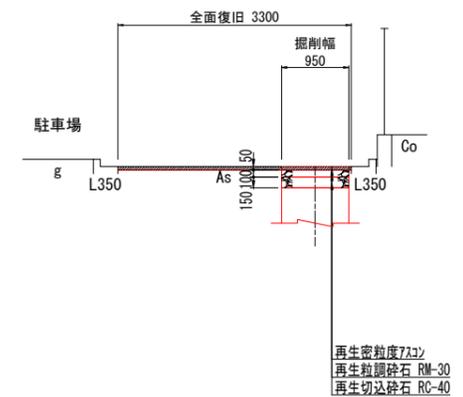
名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
L形側溝	250 L600	本	16.5	
コンクリート工	18-8-25	m ³	0.350	
型枠工		m ²	2.000	
基礎砕石工	RC-40 t=10cm	m ²	3.500	

横断面図 S=1:50

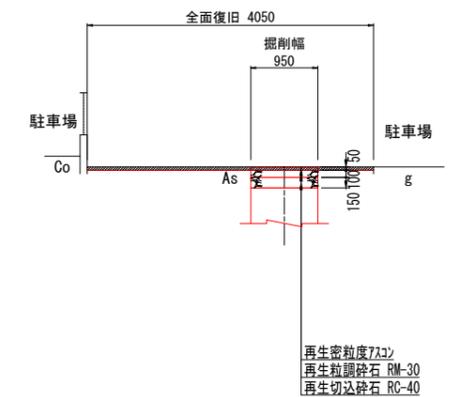
A-A断面図



B-B断面図

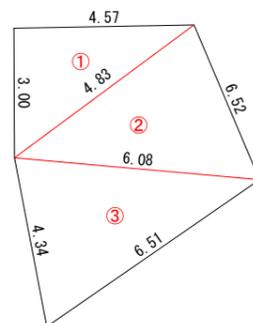


C-C断面図



求積図 S=1/100

A部

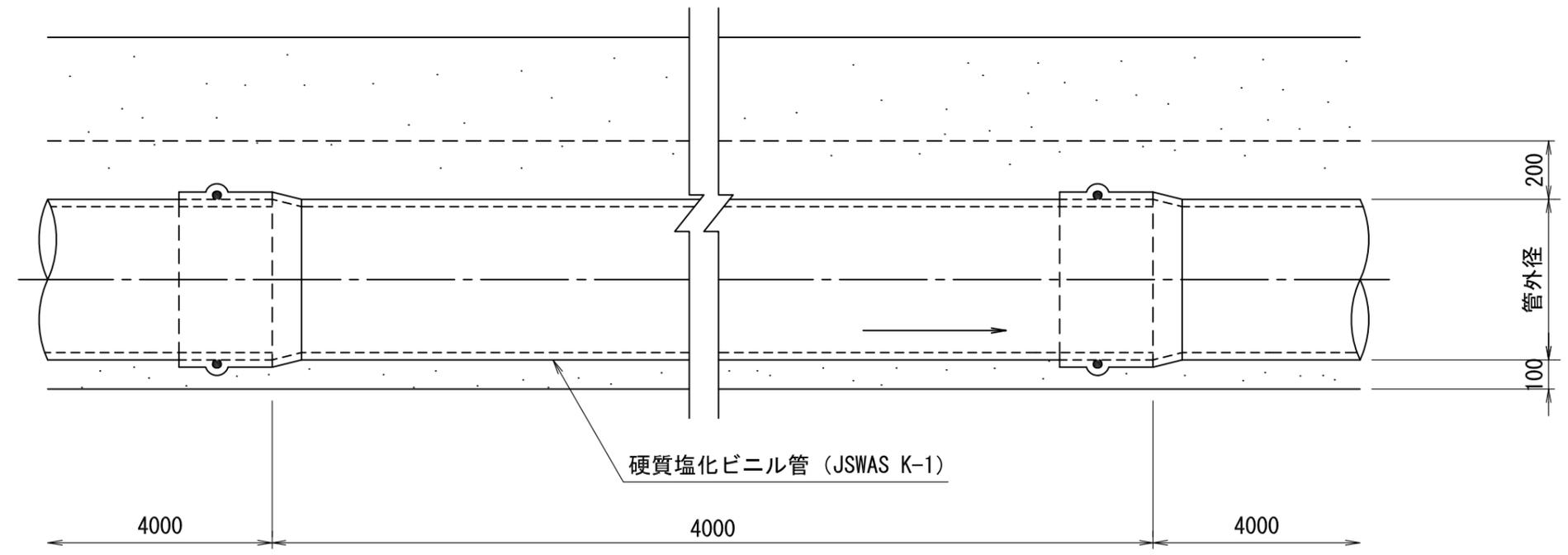


参考図

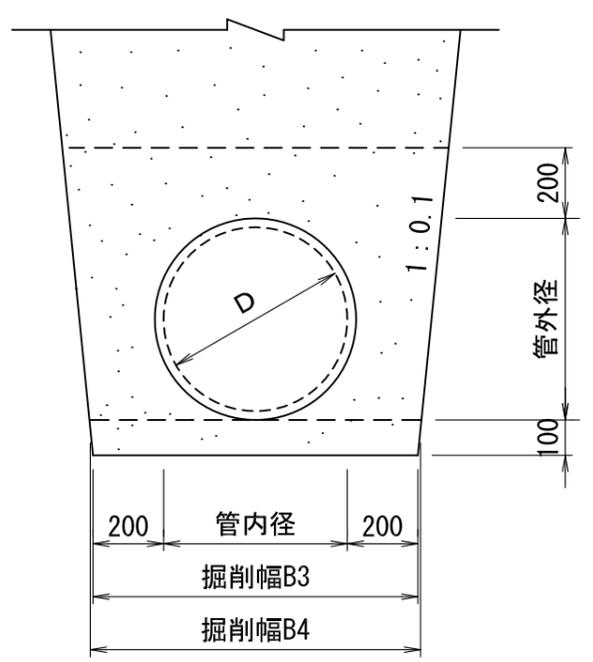
2E14

令和 7 年度	
工事名	松戸第2処理分区分水幹線工事 (R7-2)
路線番号	
工事箇所	松戸市 金ヶ作 地先
図面種別	付帯工図(本復旧図)
縮尺	図示
図面番号	全 4 葉ノ内第 4 号
松戸市建設部下水道整備課	

縦断図



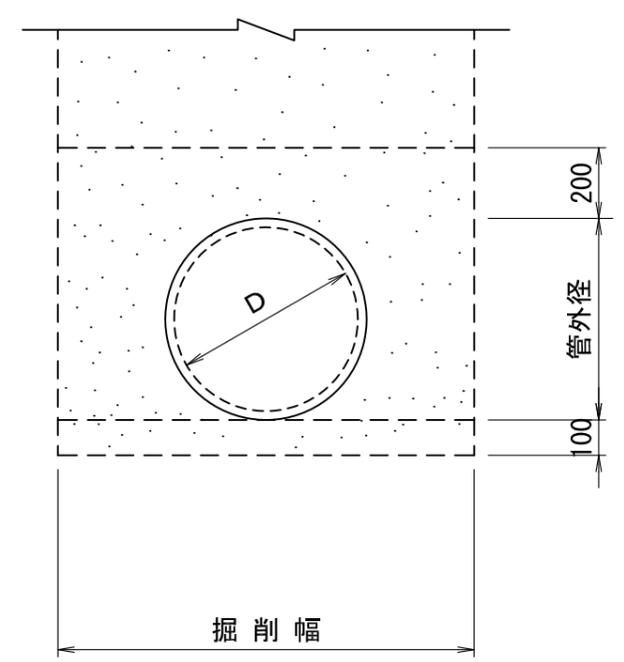
断面図(素掘り工法)



寸法表 (mm)

呼び径 (D)	掘削幅	
	B3	B4
150	550	750
200	600	620
250	650	670
300	700	720
350	750	770

断面図(土留め工法)



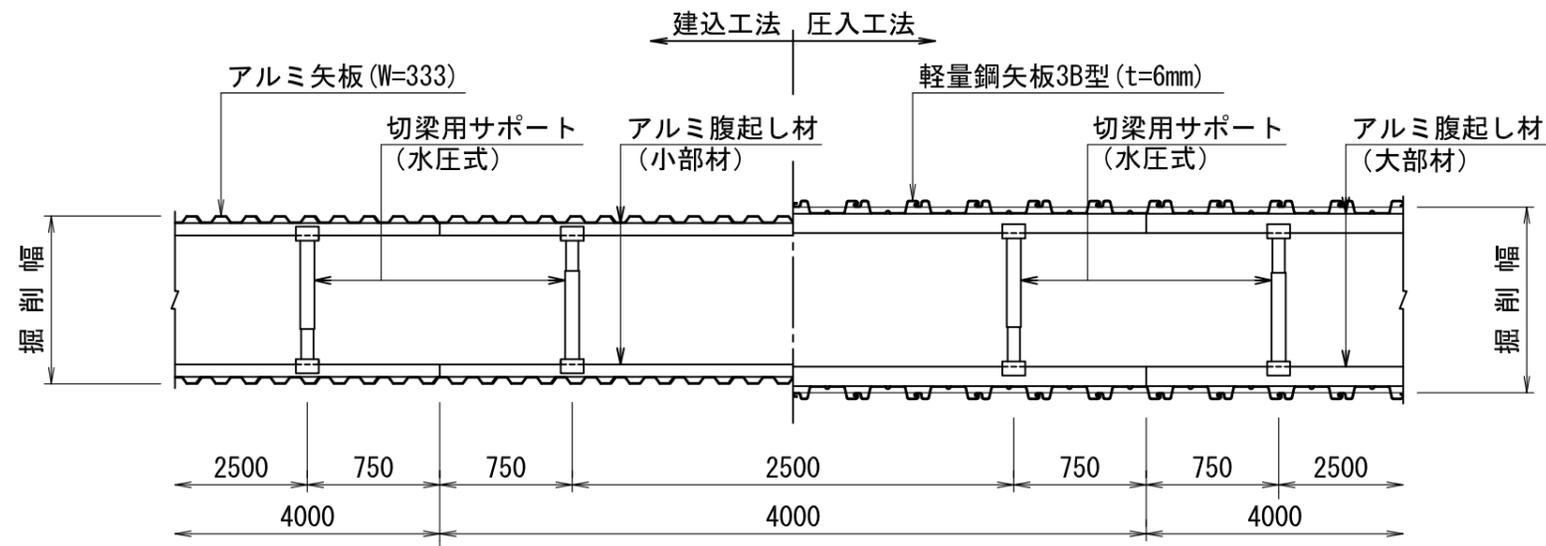
寸法表 (mm)

呼び径 (D)	管外径
150	165
200	216
250	267
300	318
350	370

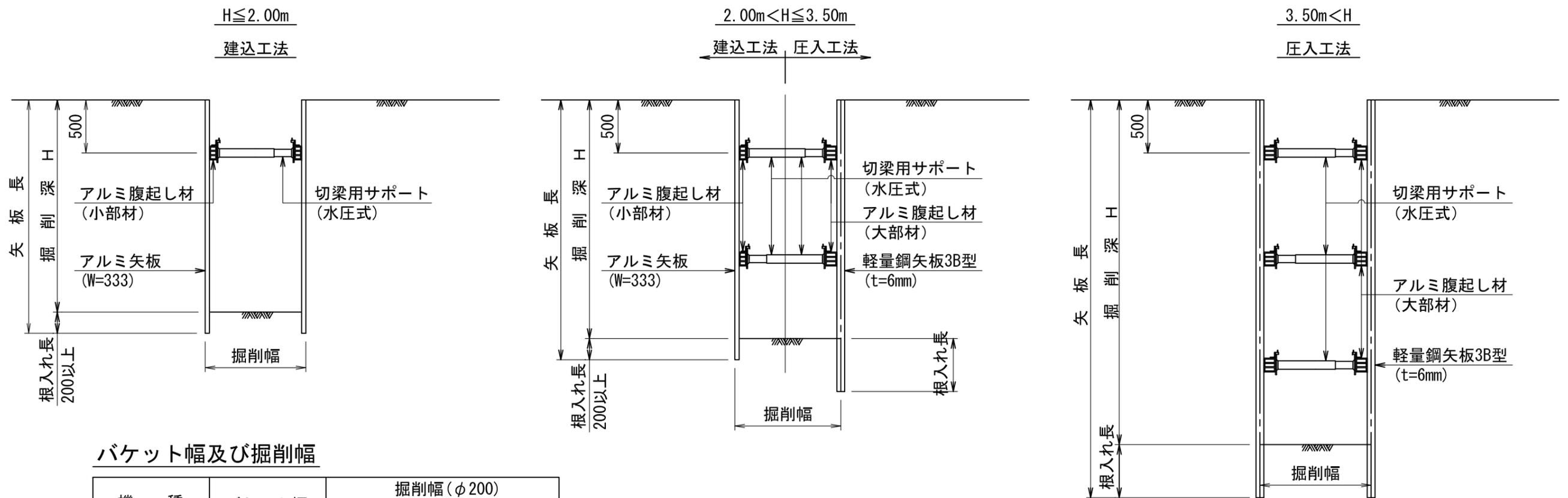
※管上に地下水がある場合の埋戻し材は、再生砂とする。

図面	硬質塩化ビニル管基礎標準図	
縮尺	—	図番 1
松戸市 建設部		

平面図



断面図



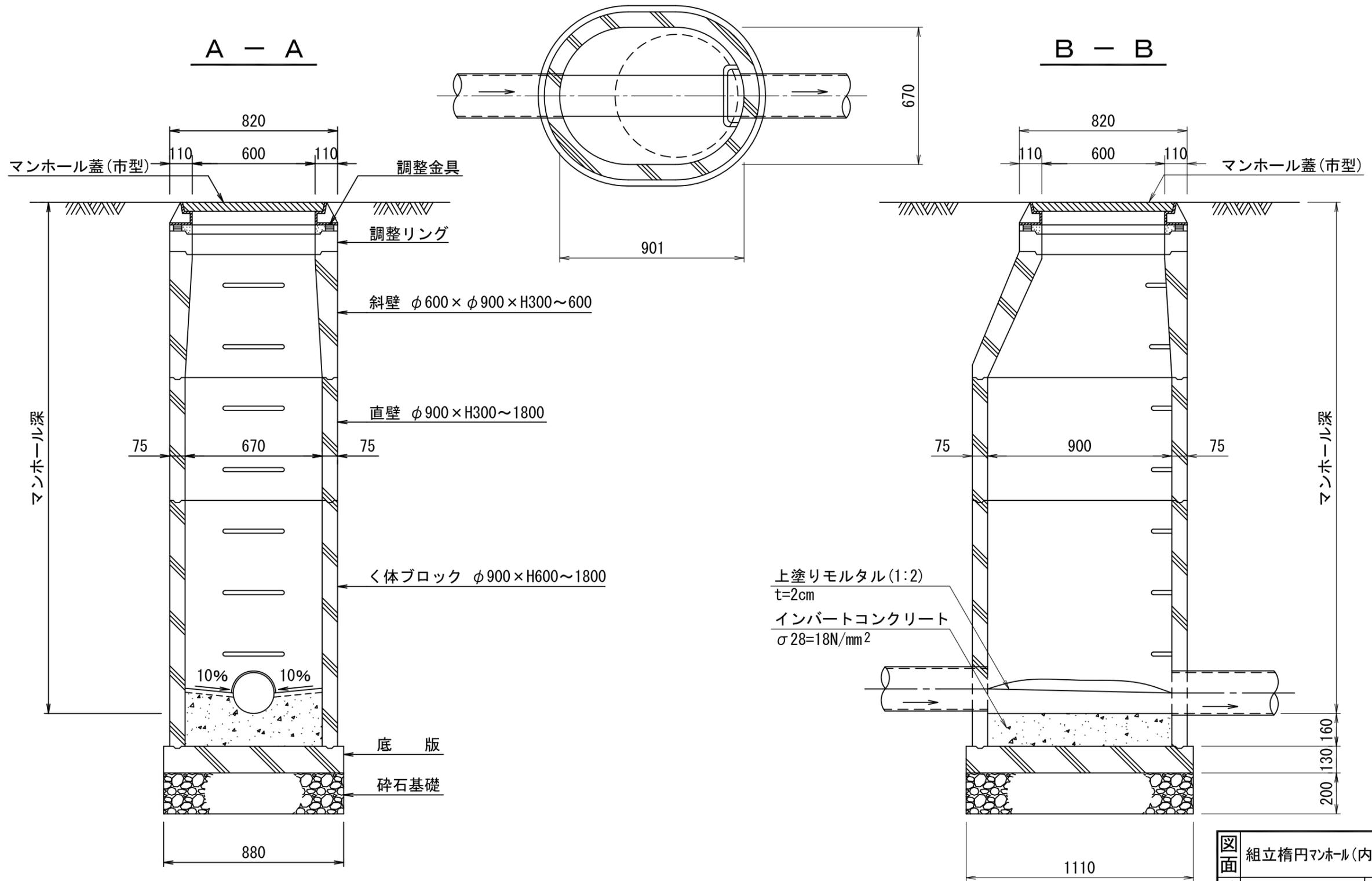
バケット幅及び掘削幅

機種	バケット幅	掘削幅 (φ 200)	
		建込工法 (アルミ)	圧入工法 (軽量)
0.13m ³ 級	0.45m	0.95m	0.95m
0.28m ³ 級	0.60m	0.95m	1.05m
0.45m ³ 級	0.75m	1.10m	1.20m

※ 矢板長は、縦断面図参照

図面	土留工標準図		
縮尺	—	図番	6
松戸市 建設部			

平面図

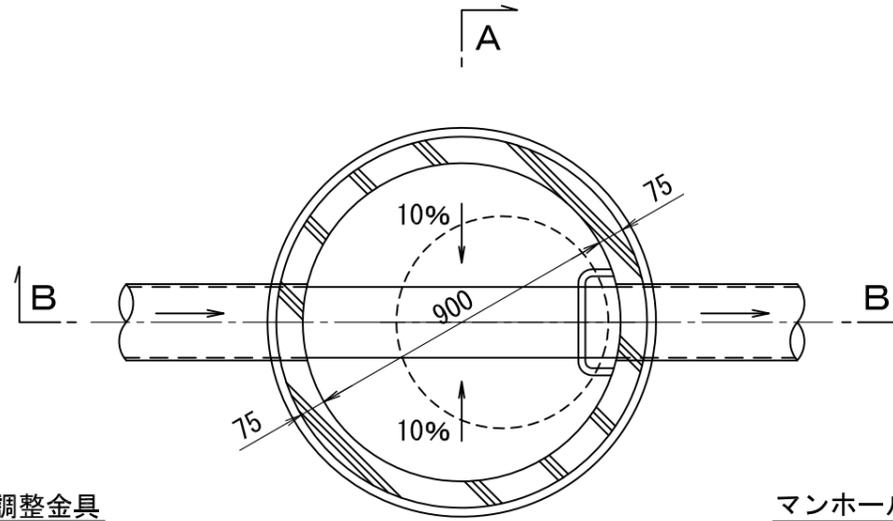


※受口、差口管は2m未満の管を使用する

図面	組立楕円マンホール (内径600×900) 標準図		
縮尺	1:20	図番	14
松戸市 建設部			

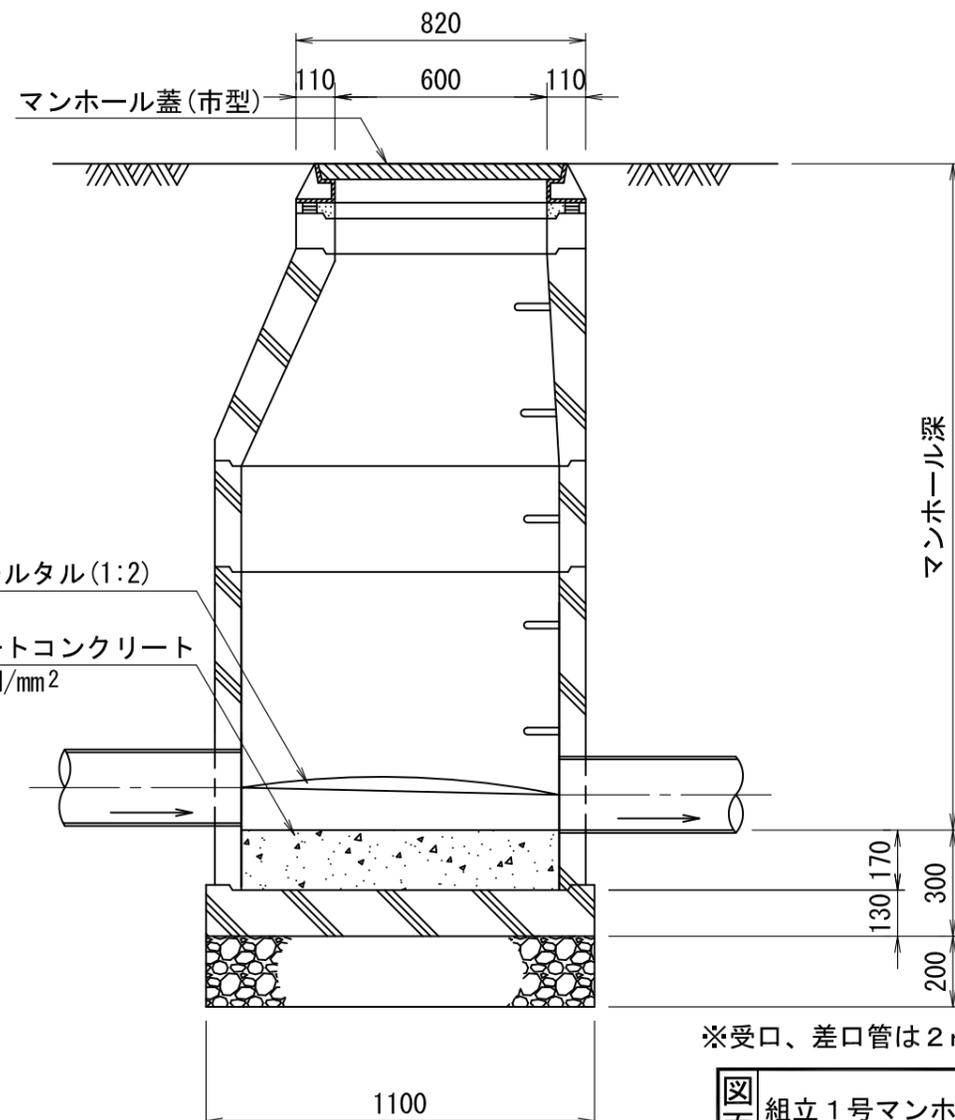
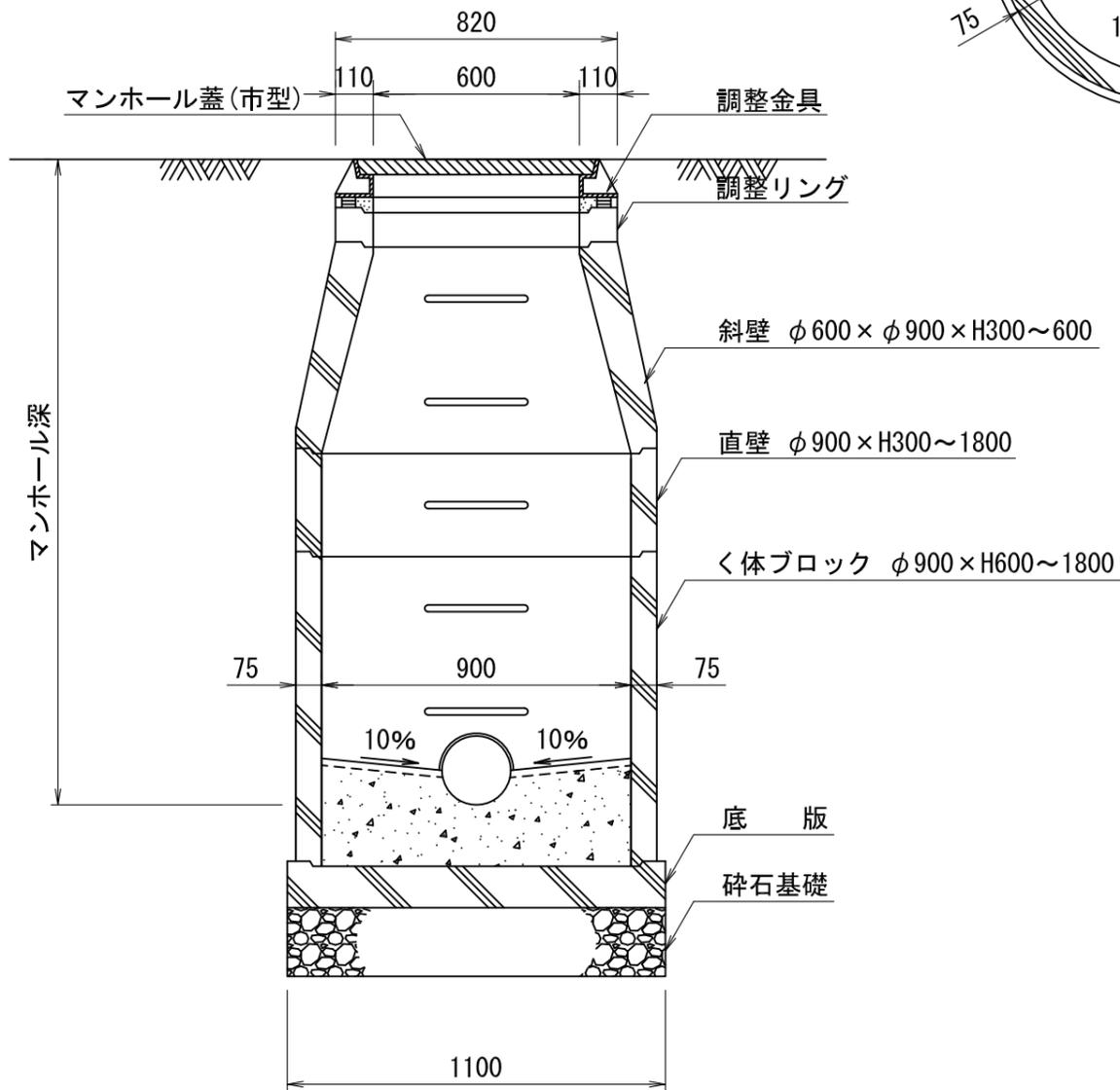
平面図

A



A - A

B - B



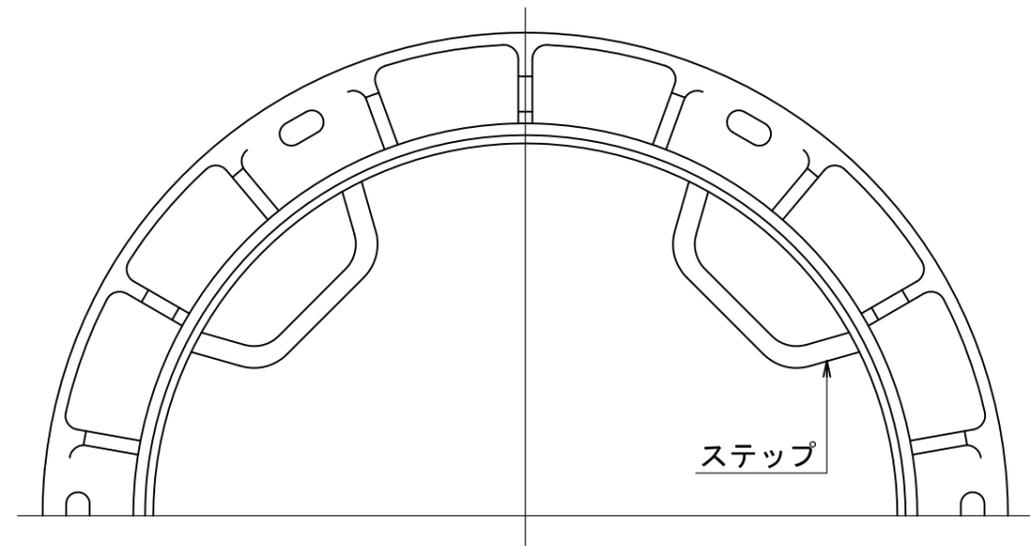
※受口、差口管は2m未満の管を使用する

図面	組立1号マンホール(内径900)標準図	
縮尺	1:20	図番 16
松戸市 建設部		

紋章平面図



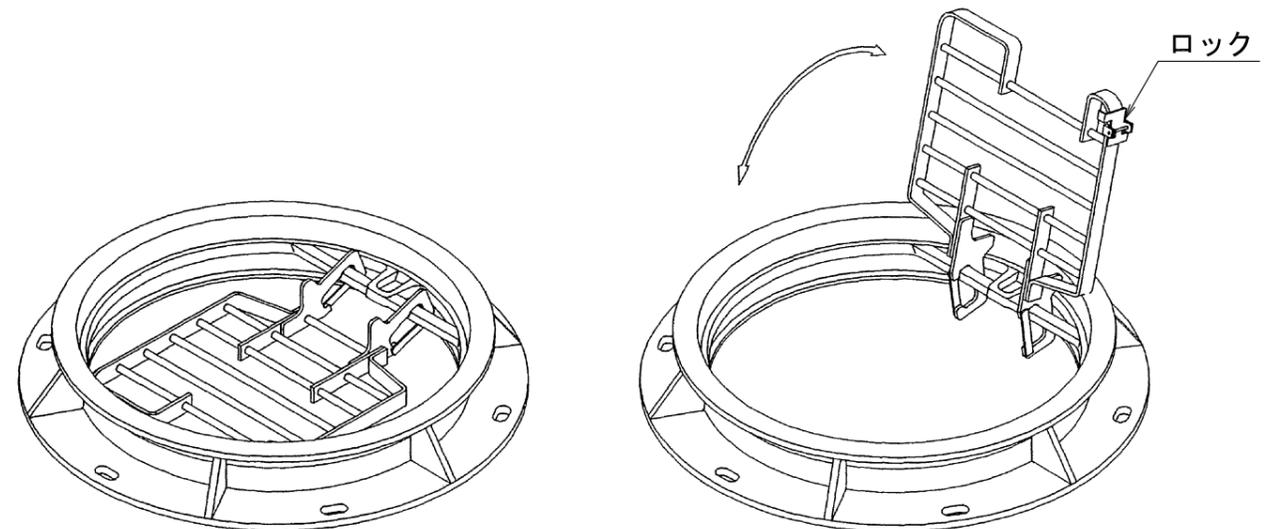
ステップ取付図 (参考)



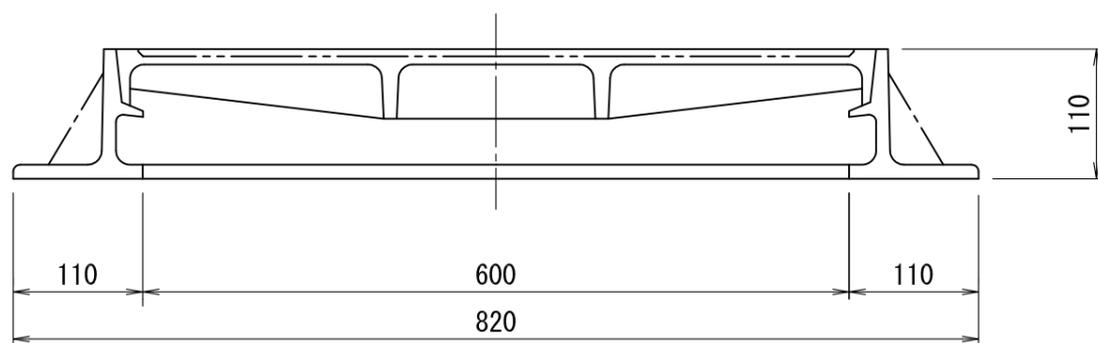
(特記事項)

1. ふたと枠は蝶番で連結した構造とする。
2. 浮上防止機能及びロック機能付きとする。
3. 受け枠にはステップが付いたものとし、将来転落防止機能等を装備できる構造とする。
4. マンホール深が2m以上には、転落防止用梯子を設けるものとする。

ロック付転落防止用梯子図 (参考)

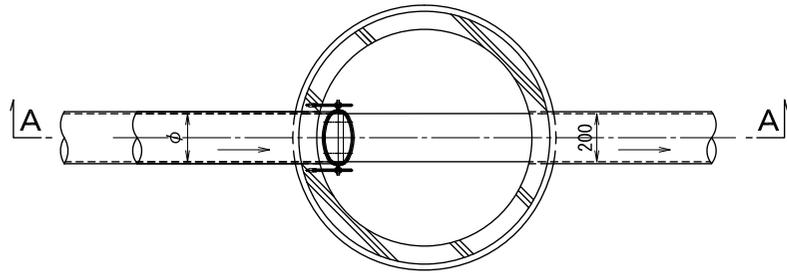


断面図

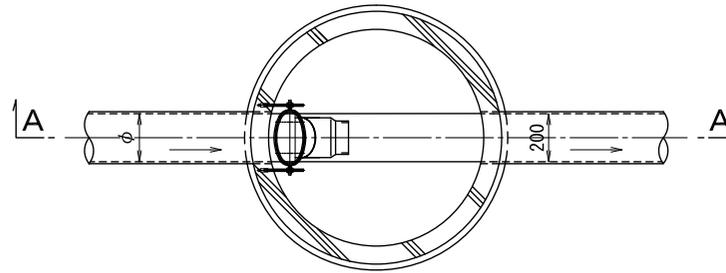


図面縮尺	マンホール鉄蓋詳細図	
	1:6	図番 19
松戸市 建設部		

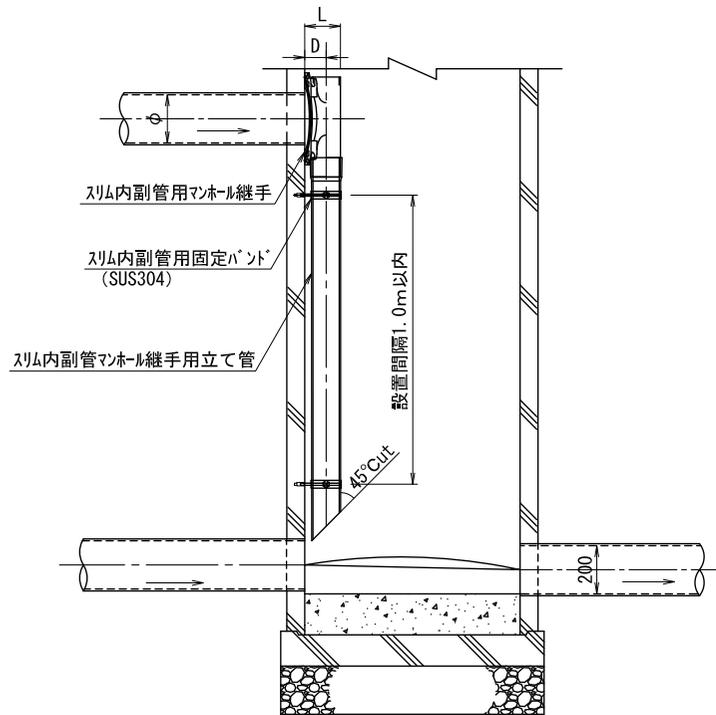
平面図



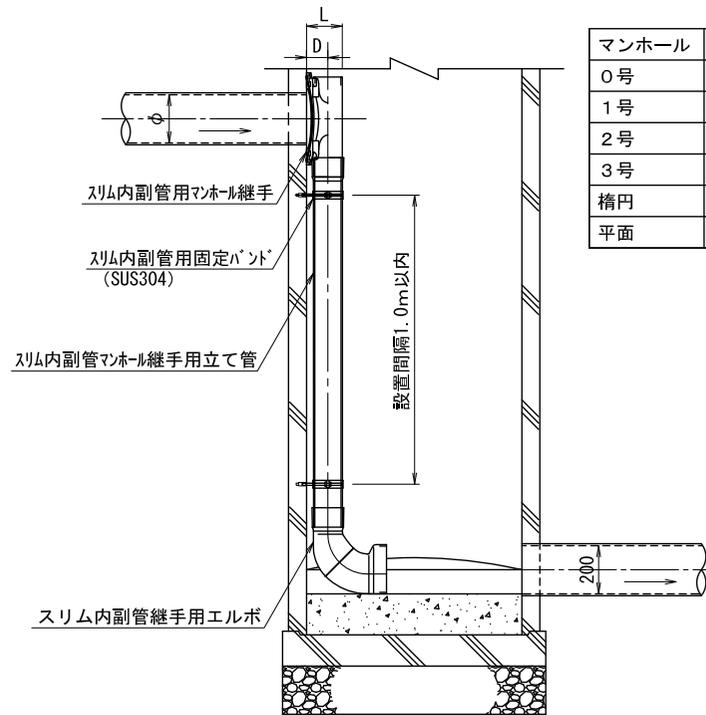
平面図



A - A



A - A



スリム内副管寸法表

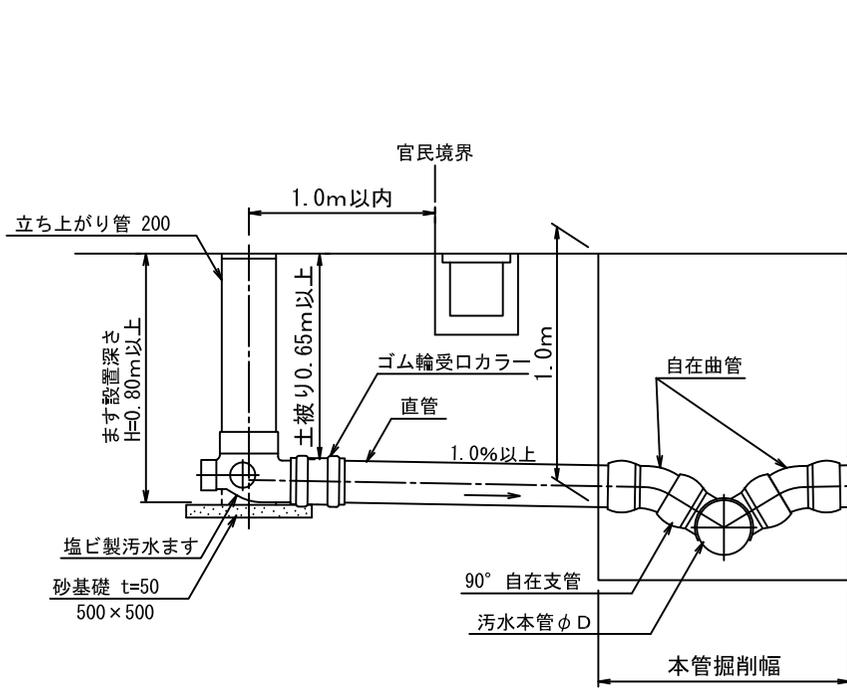
マンホール	形状	φ	D	L
0号	R部	200	111.5	170
1号	R部	200	89.5	150
2号	R部	200	101.5	162
3号	R部	200	101.5	162
楕円	R部	200	124.5	185
平面	平面部	200	101.5	162

※ 上図は、上流側本管上にサービス管が布設させるケースを示す。

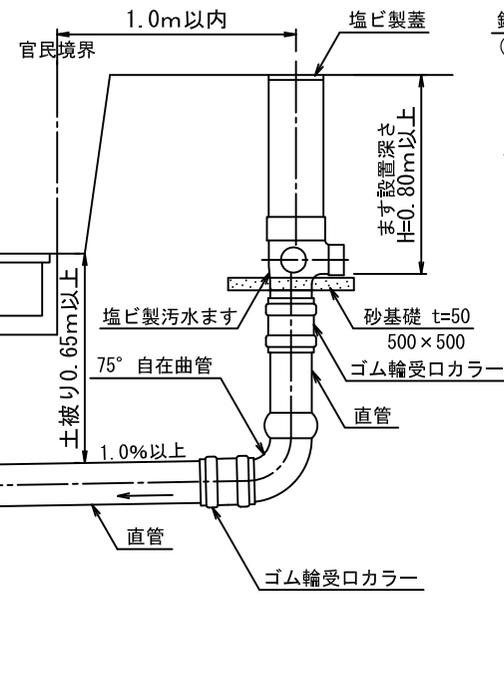
※ 内副管でマンホール内のスペースがない場合はスリム型内副管を検討する。

図面 縮尺	内副管標準図(2)	
	1:20	図番 22
松戸市 建設部		

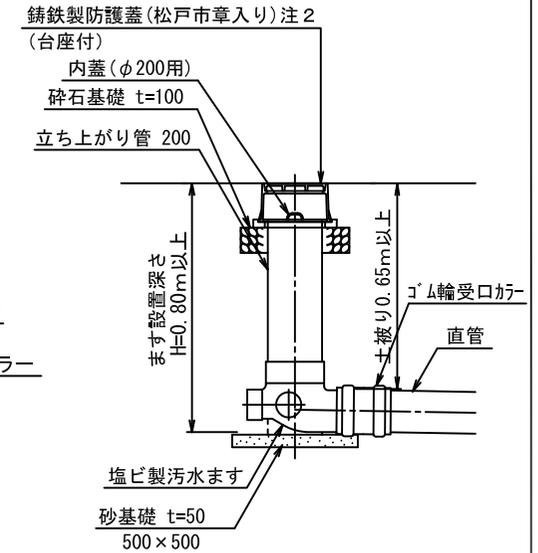
Aタイプ



Bタイプ

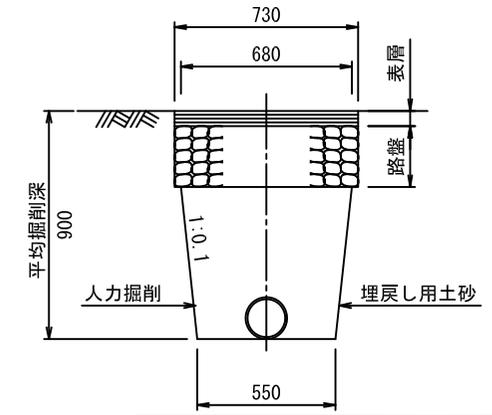


私道部(防護蓋)



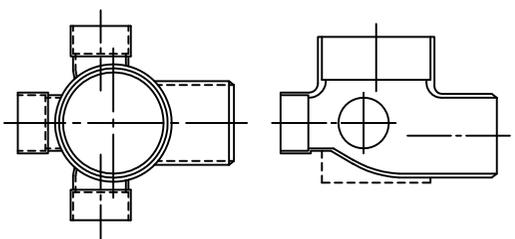
A-A

(取付管布設標準図)



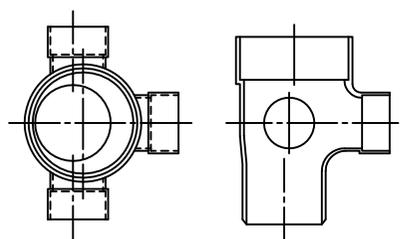
小型取付ます

Aタイプ



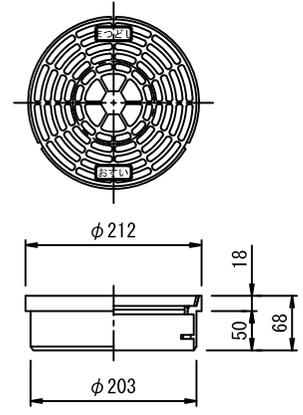
小型取付ます

Bタイプ



塩ビ製蓋紋章

(差し口形 ワンタッチ蓋)

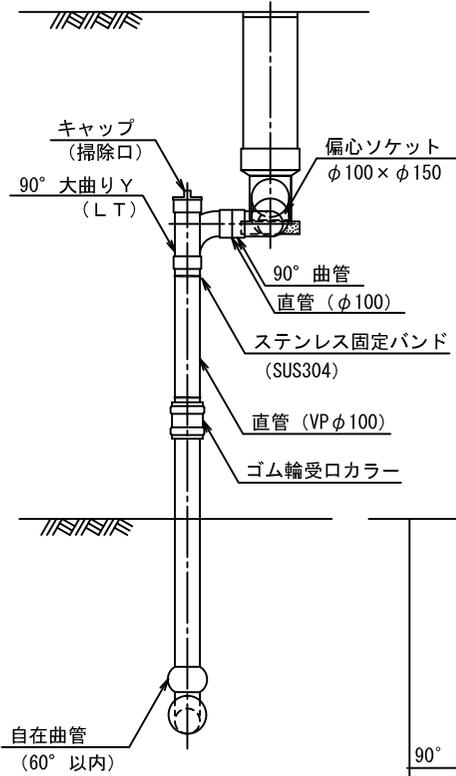


注1) 宅内用ます流入径は、φ100mm、私道用ます流入径は、φ150mmとする。
 注2) 私道部については、鑄鉄製防護蓋(クサリ付)を設置する。
 注3) 松戸市章入りについては、「まつどし・おすい」と明記すること。

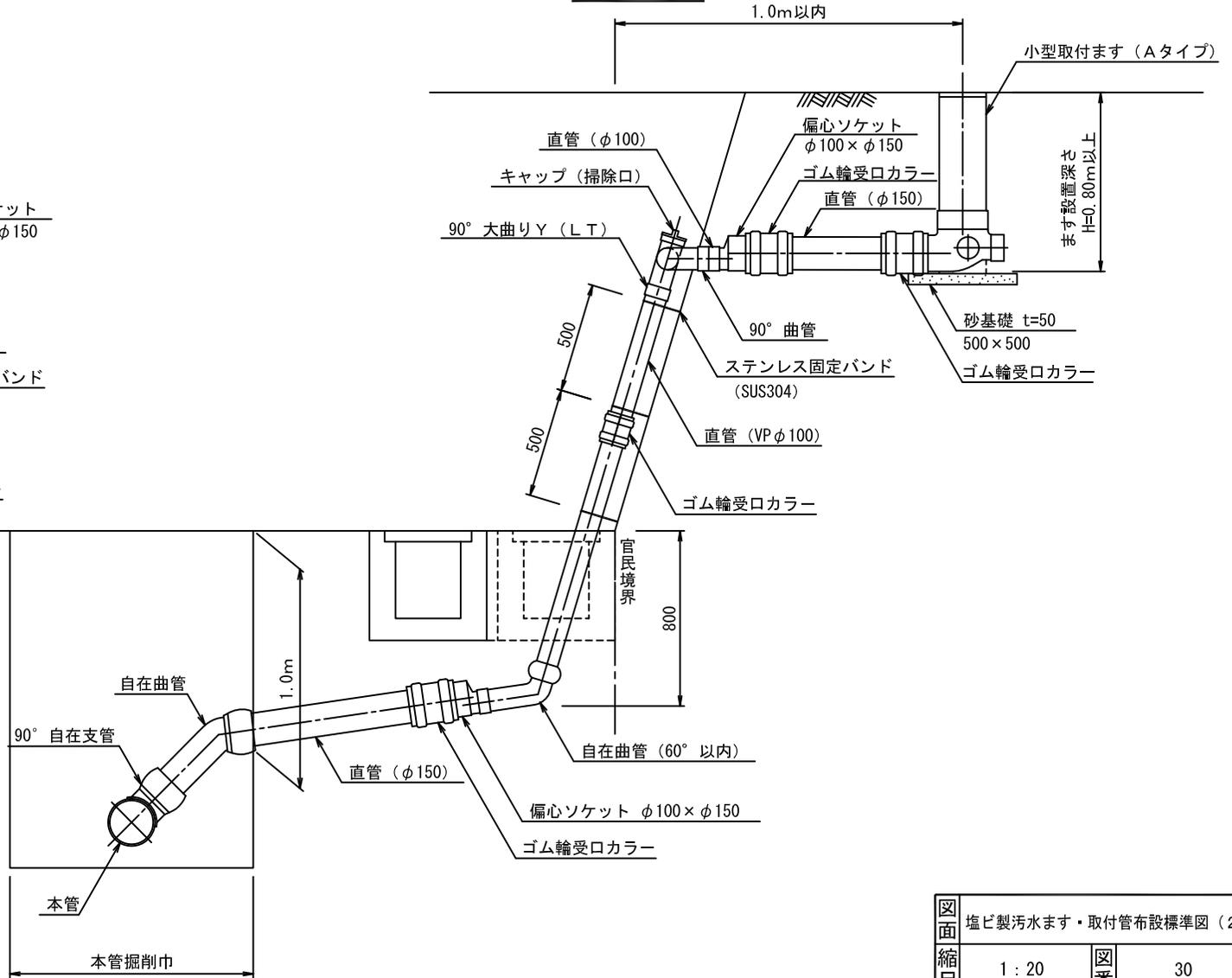
図面縮尺	塩ビ製汚水ます・取付管布設標準図(1)	
	1:20	図番 29
松戸市 建設部		

Cタイプ

正面図



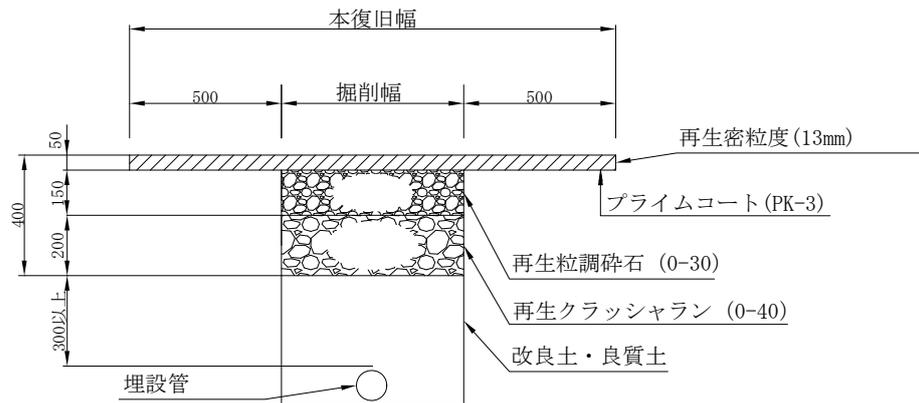
側面図



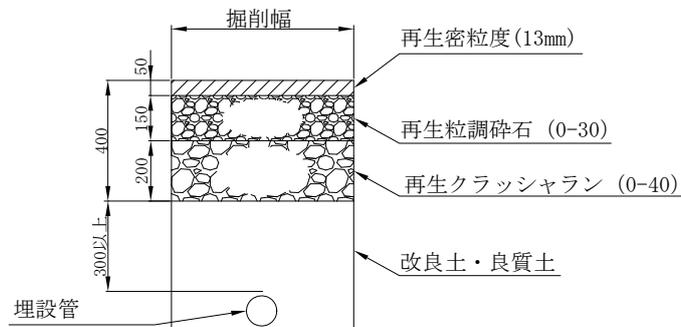
図面縮尺	塩ビ製汚水ます・取付管布設標準図(2)	
	1:20	図番 30
松戸市 建設部		

松戸市一般 (交通区分：N3・旧L交通)

本復旧



仮復旧

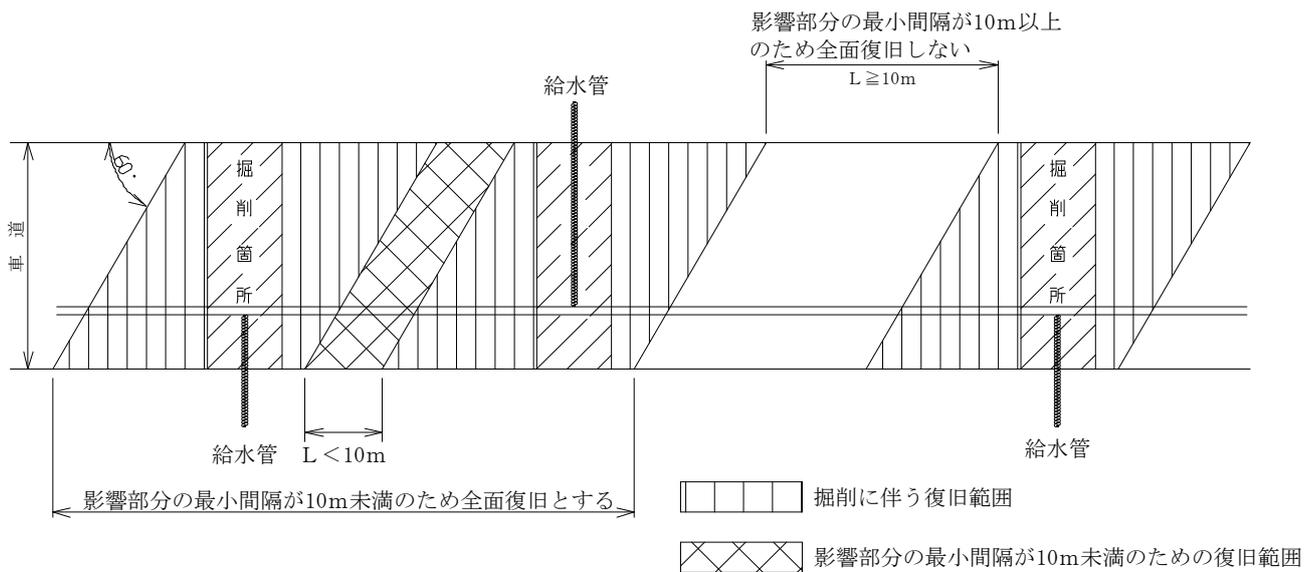


* 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

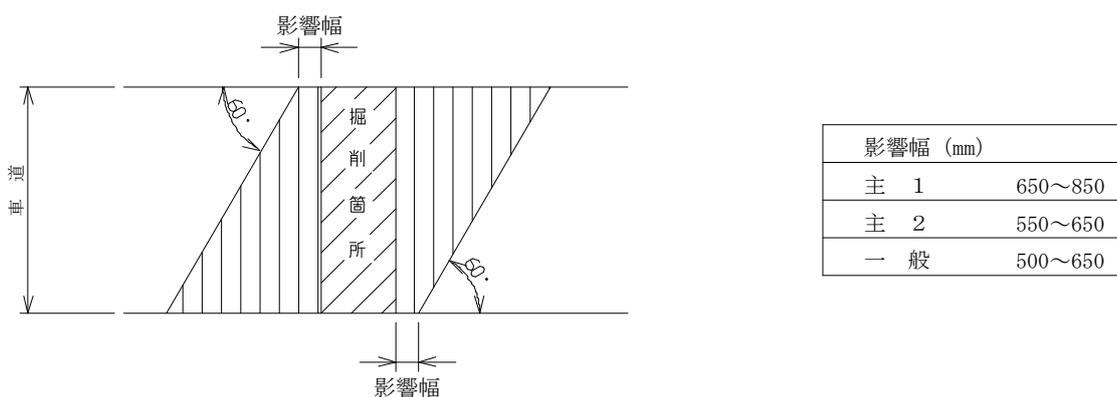
注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

車道本復旧施工図(横断) 占用適用図 (幅員 5 m未満)

横断占用が連絡する場合の本復旧施工例



掘削幅が狭い場合の本復旧施工例



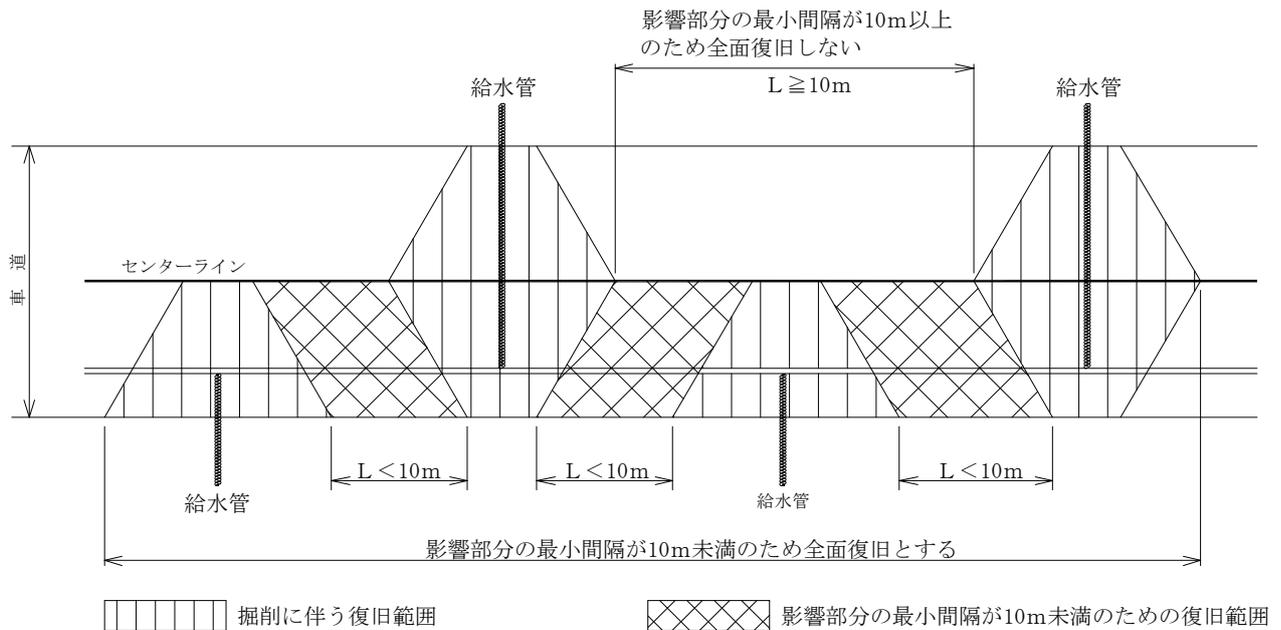
* 同一路線で他の工事と競合する場合の舗装本復旧は最終の施工者を定め、路面の舗装継目が最小になるよう一面整備とする。

注 道路付属物等の改築に伴うアスファルト復旧においても適用する。

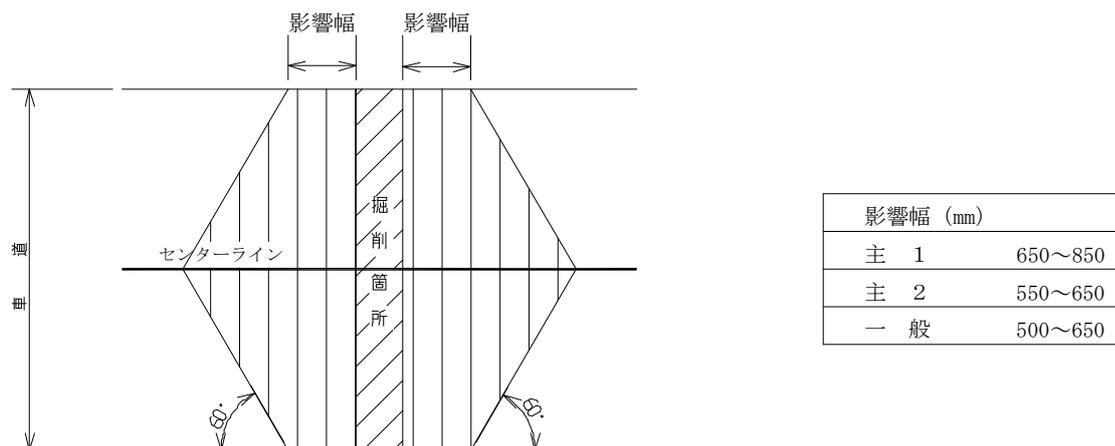
また、交差点及び道路形状が特殊な場合は、別途協議により決定する。

車道本復旧施工図(横断) 占用適用図 (幅員 5 m以上)

横断占用が連絡する場合の本復旧施工例



掘削幅が狭い場合の本復旧施工例



- * 同一路線で他の工事と競合する場合の舗装本復旧は最終の施工者を定め、路面の舗装継目が最小になるよう一面整備とする。

注 道路付属物等の改築に伴うアスファルト復旧においても適用する。

また、交差点及び道路形状が特殊な場合は、別途協議により決定する。